



ANNUAL REPORT 2020

JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL OSAKA



粹都大阪の実現

CONTENTS



01	02	03	04	05	07	08	10	12	13	14	15	16	17	18	19	21	22	23	25	26							
青年会議所とは	大阪青年会議所の特性	JC宣言	大阪青年会議所の歴史 綱領	理事長所信	2020年度組織	2020年度プロジェクト一覧	理事長挨拶	直前理事長挨拶	役員挨拶	2020年度年間事業報告	会員開発委員会(共感)	会員開発委員会(共生)	共生社会室	共感都市創造委員会	青少年育成室	未来社会構築委員会	世界共創室	国際人材交流委員会	渉外室	渉外委員会	総務室	総務財政委員会	報道戦略委員会	年間月例会	2020年表彰	広告制作物	メディア掲載情報

青年会議所とは

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本青年会議所（JC）運動は始まりました。

共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもと、1950年には大阪青年会議所が国内で2番目に創設され、日本JCという国家青年会議所を設立するための重要メンバーとして関わっていきました。また各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、三つの信条（トレーニング「個人の修練」、サービス「社会への奉仕」フレンドシップ「世界を結ぶ友情」）のもと、よりよい社会づくりをめざしボランティアや行政改革などの社会課題に積極的に取り組んでいます。さらには、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

大阪青年会議所の特性

青年会議所には品格のある青年であれば、個人の意思によって入会できますが、大阪青年会議所では25歳から40歳までという年齢制限を設けています。（但し入会資格は満25歳から37歳まで）これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会に貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなければなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られています。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動に展開しています。

青年会議所におけるさまざま実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

JC宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

大阪青年会議所の歴史

- 1950 大阪青年会議所創立
- 1951 日本青年会議所創立
- 1957 「整肢学院児童招待ドライブ」を開始
- 1962 「JCIアジアコンファレンス」を大阪にて開催
- 1970 万国博野外劇場施設及び参加催物の提供
- 1974 淀川改修100年を記念して「淀川100野外祭」を開催
- 1974-83 「淀川マラソン」を実施
- 1980 「JCI世界会議大阪大会」を開催
- 1980- 「キッズスワップ(交換ホームステイ)」を開始
- 1980-89 「国際シンポジウム」を開催
- 1981 「TOYP(The Outstanding Young Person)大阪会議」を開催
- 1982 「わんぱく相撲」を実施
- 1985- 天神祭「船渡御」への能、文楽、歌舞伎船での参加
- 1986 「Save The Children Japan(SCJ)」設立(大阪JCが中心となって設立)
- 1995 阪神淡路大震災における組織的支援活動 国連広報局よりNGOとして承認
- 1996 「大阪NPOセンター」設立(大阪JCが中心となって設立) 「大阪モデル国連会議(OMUN)」開催
- 1998 「第2回世界遺産国際ユースフォーラム1998」を開催
- 2000 大阪JC創立50周年記念植樹 「大阪JC実りの森」を実施
- 2001 「日本JC第50回全国会員大会大阪大会」開催
- 2008 インド・ニューデリーのJCI世界会議にて、「2010年度JCI世界会議」が大阪に決定
- 2010 「大阪JC創立60周年記念式典・祝賀会」開催 「第65回JCI世界会議」を大阪にて実施
- 2012 「第67回JCI世界会議台北大会」でプノンベンJCとシスターJC締結
- 2014 一般社団法人へ法人格を移行
- 2015 「大阪JC創立65周年記念式典」開催
- 2016 18歳選挙権解禁に伴うULTRA VOTE PROJECTの開催
- 2017 マチミラOSAKA2017の開催
- 2018 大阪市への公開提言の実施／万国博覧会の開催決定
- 2019 SDGsMIRAIKAIGIの開催／SDGs甲子園×TOYPの開催
- 2020 「大阪JC創立70周年記念式典」開催／粋の祈りプロジェクトの実施



整肢学院児童招待ドライブ



淀川マラソン



わんぱく相撲



第65回 JCI世界会議 大阪大会



大阪JC創立65周年記念式典



粋都大阪の実現

～共に社会を変える主人公となれ～



第70代理事長 小倉 康宏

古来より、上方では粋（すい）という美学があった

関東に「いき」と呼ばれ、息を吐くが如く、全てを削ぎ落した先にある人間味を評価する引き算の美学があることに対し「すい」は吸う息と例えるが如く、人の間でもまれて習熟したこと、情報や経験から得たものを身の内に吸収し、血肉として蓄え自分を磨いてゆく、足し算の美学である。

粋を尊ぶ大阪人は、自然のものをありのまま受けとめ、そこから生まれる恵みを感謝と畏敬の念をもって享受し、少しずつ工夫と研鑽を重ね、素材そのものの価値を引き出すだけでなく、より良いものを創造する過程で新たな製法や技術を生み出してきた。

大阪という都市がユネスコ無形文化遺産に指定された日本の食文化を天下の台所と呼ばれる時代から支えてきたこと、世界から評価される技術を持つ企業を多く有すること、そして世界で最も長く続く企業を筆頭に数多くの老舗企業を有することの背景には、純粋に多様な価値を受け入れ、時代の変化に柔軟に対応し、他に無い独自の文化として確立してきた、この「粋」を重んじる風土が根付いていたからだ。

世界でいまだ利己主義の横行による混迷がつづく中、今こそ大阪人の美学であるこの粋の精神をもって社会を変えていこう。

はじめに

「平成」が終わりを告げ、「令和」という新時代が幕を開けました。思い返せば明治の頃より水都と呼ばれ、水運に支えられ商業の中心として発展してきた大阪も、昭和から平成に改元した頃の関西国際空港開港から国際都市として歩み出し、世界で起こった社会情勢の変化により急速なグローバル化が進み始めました。そして2000年代からITが大きく進歩し、さらに世界との距離を縮めることとなり、大阪も時代の変遷とともに社会の境界が薄まる一方、活動領域を大きく広げることで発展を遂げてきました。そして今後はさらなる医療、科学技術の進歩の反面、大幅な人口減少が予想され、個人の役割や責任の比重が大きくなる時代と言えるでしょう。そのため世代、性別、国籍を越えて全ての人間にスポットをあて誰もが活躍できる社会をめざさなければなりません。70年間大阪と共に歩み、都市の発展に寄与してきた私たちは2020年代という希望と不安が混在する時代の波の中で、仲間と共に思考と行動という挑戦を繰り返し、さらに社会からの共感を得られる団体となり、次代に向けて舵をとっていく必要があるのです。粋の精神で自らが主人公となって。

誰もが活躍する共生社会の実現

2010年代初頭よりインバウンドの増加傾向がみられ、近年では訪日外国人が1,100万人を超え、首都東京以上の伸長率を誇っています。加えて昨年のG20の開催を皮切りに日本万国博覧会開催など国際社会との接点が一層増えていく好機を迎えています。大阪が都市としてさらなる発展を遂げるには、国際社会から共感される都市としての魅力を高め、さらに接点を強めていかなければなりません。そのために、都市の強みも課題も含めてありのままに現状を俯瞰して捉え、様々なパートナーシップによって斬新且つ大胆な解決策を生み出し、誰もが活躍できるより良い環境や仕組みを創っていく人財が必要です。例えば、先進国に比べ遅れているジェンダー平等の実現について、単純に女性雇用を増やしたり幹部にいたりするのではなく、職場において女性自身が望んでリーダーシップを発揮でき、他の女性にとってめざすべき姿となるリーダーの育成が必要です。特に未来ある女性には、自分の将来を考えて、働き方やリーダーシップ、生き方について真剣に向き合ってもらうことで女性が活躍する社会の実現に近づけるのです。また、誰もがより良い社会の姿について考え、個性を発揮できる環境を産官学民の連携で実現できれば、男女国籍を問わず都市としての魅力が確立され、より一層社会からの評価につながっていきます。そのため、共生社会の実現を様々な連携によってめざし、大阪の国際社会に誇れる最大の強みにしていきたいのです。

私たちは個人や企業と共に共生社会実現について考え、国籍や性差に捉われない多様性を受容する社会をめざし、大阪の都市としての新たな魅力を創造し、粋都大阪を実現します。

子どもの純粋な夢に共感する社会の実現

大阪は子どもの相対的貧困率が全国と比べて高く、実に5人に1人が現代で享受できる教育や生活水準をもつことが困難な環境にいるとされています。また人工知能や科学技術の進歩により、人間が担ってきた労働をテクノロジーが代替することが予想され、将来の就業に対しての不安が大きくなっています。反面、YouTuberやプロスポーツ選手の出現など、今まで存在しなかった新たな職業が登場し、子どもたちの将来の選択に大きな可能性を生み出しました。しかし、子どもが置かれた環境を理由に自分が叶えたい夢を諦め、就きたい仕事に就けない社会では明るい未来はありません。2020年代は既存の価値や枠組みにとらわれない自由な発想で自ら未来を選択する時代となり、そのためには、それぞれの子どもがもつ個性と向き合い、他と異なることを才能として可能性を見出し、夢や希望を叶えられる環境をつくり、実現に向けて必要な知識や教養を大人たちが提供していかなければなりません。

また、近年では大きな災害の発生が日本各地で起こり、子どもたちが安心安全に暮らせるには、どんな環境でも生き抜くことができるソフト面におけるレジリエンスの実現が重要です。現代の子どもたちは阪神淡路大震災を経験していませんが、大きな天災に遭遇したときに備え、十分な知識を授け、体験による対策を与えなければなりません。

私たちは、社会が一体となって、子どもの多様な個性を受けとめ、それぞれがもつ未来の可能性を引き出し、自分の人生という舞台で主人公として自由に活躍し、大人たちが子どもの夢の実現を応援する社会を創り、粋都大阪を実現します。

共創を拓ける人財の育成

資本主義経済が限界を迎え、これからの時代はどれだけ儲けるかという一時的な利益志向から、どれだけ社会に貢献しているかという長期的な社会志向が評価される時代となり、今後はSDGsを推進する企業、つまり社会を良くしようと取り組む企業がグローバルスタンダードとなるでしょう。また、産業やサービスにおいても時代の変化とともに既存の価値を組み合わせ、その在り方を変えてきました。例えばサブスクリプションサービスやシェアリングエコノミーなど、価値の足し算による、いままでには無かった経済が生まれています。これは全くのゼロから生み出された価値ではなく、デザイン思考から生み出される創造性あるビジョンから、社会に必要とされるモノ、消費者に共感されるサービスとして生み出されてきたのです。激動の時代を生き抜くために、未来の社会をデザイン思考で思い描き、時代の潮流を捉え、今までにないビジネスモデルを生み出す人財が必要とされる現代、未知の領域に臆することなく挑戦する若い人財の育成が重要です。また、近い将来には外国人と共生する社会が訪れます。大阪の企業人も未来を見据えて積極的に国際交流を図り、共創による新しい可能性を見出し、世界をステージと捉えたビジネスの舵取りが求められています。そのため多様性を受容し、受け継がれた文化や技術に変化を加え、社会に必要となる新たな業を創造する人材のネットワークを構築していかなければなりません。

私たちは、大きな変化をとまなう時代の潮流を読み、既存の価値の掛け合わせからイノベーションを起こし、共創により国際社会に共感をもたらす人財を育成することで粋都大阪を実現します。

自分を磨き変化を起こす主人公となれ

日本全国のJCメンバーは最盛期には70,000名近くの会員が在籍し、国際青年会議所の中でも存在感を放っていました。しかし近年では32,000名までその数を減らしています。20代から30代の人口減少も要因のひとつでしょう。しかし原因は果たしてそれだけなのでしょうか。多様性あふれる社会の中で多くの青年に選択される価値を我々JCが提示できていないのではないのでしょうか。大阪JCだから入会したい、一緒に活動してみたい。そう共感される「大阪JCブランド」を設立70年という節目に再び確立していきたいのです。

そのためには、まず会員が組織の成り立ちを認識し、活動の意義を理解し、人生という大舞台の主人公として自らに使命を課し、行動に移す動機を提供していくことが重要です。また継承されてきた日本全国や世界五大陸に存在するネットワークを活かし、JCだから可能になる青年同士の民間外交によって、共生社会をめざしていかなければなりません。そして、我々が中心となり社会一体となって都市の未来を創造するため、活動に込めたメッセージを独自の視点と今までに無い切り口で発信し、市民や社会をより良くしようとする青年たちに届けていく必要があるのです。

JCIが掲げる使命「青年に成長と発展の機会を提供する」。

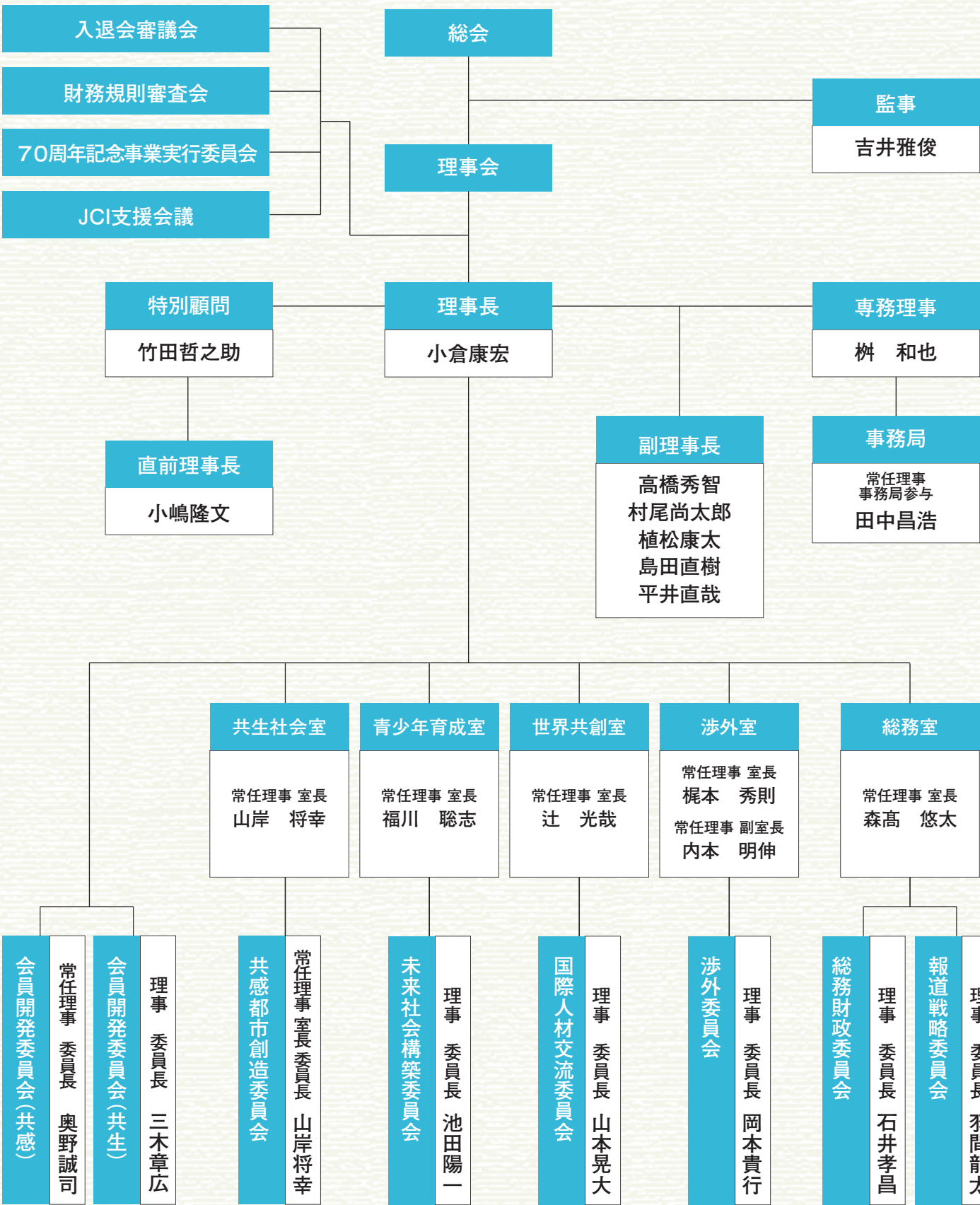
全ての会員が役割と責任をもち、自分が主人公として仲間と共に粋の精神で社会に変化を起こす人財へと成長を遂げてもらいたいのです。私たちは、奉仕の精神を継承し、誰かではなく自分が率先して挑戦し、人生という舞台で主人公として未来を切り拓き、周囲に共感を生み出すJAYCEEとなって粋都大阪を実現します。

「粋」とは、ありのままに事象を受けとめる感受性を持ち、受け継がれた伝統や歴史を守りつつもより良いものへと昇華するべく変化に挑戦し、相手を思いやる手間や工夫を加え、今までにない価値を生み出す、大阪人が受け継いできた独特の精神性。

新たな時代に、私たち一人ひとりが社会を変える主人公となり、大阪人の粋を結集し、それぞれの思いを足し合わせ、誰もが輝ける粋都大阪の実現を共にめざしていこう。

2020年度
組織図

粋都大阪の実現
～共に社会を変える主人公となれ～



2020年度プロジェクト一覧

会員開発委員会（共感）		1, 新入会員の拡充の実施	2, 月例会の企画と実施（入会式）事業
		3, 新入会員の指導育成事業	4, なにわ淀川花火大会運営への協力代替事業
会員開発委員会（共生）		1, 新入会員の拡充の実施	2, 新入会員セミナーの実施
		3, SDG s 社会人講師の企画と実施	4, 新入会員拡大事業の実施（11月度月例会）
共生社会室	共感都市創造委員会	1, 共感都市創造事業の企画と実施	
青少年育成室	未来社会構築委員会	1, 未来社会構築事業の企画と実施	
世界共創室	国際人材交流委員会	1, 国際人材交流事業（ワン・ワールド・フェスティバル）の企画と実施	
		2, JCI金沢会議への参加促進と支援	3, 国際人材交流事業（6月度月例会）の企画と実施
		4, 国際人材交流事業（Global Young Academy Osaka）の募集・企画と実施	
渉外室	渉外委員会	1, 日本JC事業（京都会議）への参加促進及び支援	
		2, ASPACアンコール大会への参加促進及び支援	
		3, 大阪ブロック大会寝屋川大会への参加促進及び支援	
		4, 日本JC事業（全国大会北海道札幌大会）への参加促進及び支援	5, 世界会議横浜大会への参加促進及び支援
総務室	総務財政委員会	1, スタッフセミナーの企画と実施	2, 池田会議の企画と実施
		3, JCIセミナーの企画と実施	4, 月例会の企画と実施
		報道戦略委員会	1, 新年名刺交換会の企画と実施
			2, 会員大会の企画と実施

2020年度 理事・役員一覧

理事長	直前理事長	特別顧問	副理事長	副理事長	副理事長	副理事長	副理事長
小倉康宏	小嶋隆文	竹田哲之助	高橋秀智	村尾尚太郎	植松康太	島田直樹	平井直哉
専務理事	監事	常任理事・委員長	常任理事・室長	常任理事・室長	常任理事・室長	常任理事・室長	常任理事・室長
梶 和也	吉井雅俊	奥野誠司	山岸将幸	福川聡志	辻 光哉	梶本秀則	森高悠太
常任理事 事務局参与	理事・副室長	理事・委員長	理事・委員長	理事・委員長	理事・委員長	理事・委員長	理事・委員長
田中昌浩	内本明伸	三木章広	池田陽一	山本晃大	岡本貴行	石井孝昌	羽間龍太

理事長 挨拶



第70代 理事長
小倉 康宏

平素より、一般社団法人大阪青年会議所の活動に対し、行政、企業、教育機関、団体、市民の皆様にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度は、誰もが輝ける「粋都大阪の実現」をめざしてまいりましたが、年初より戦後最大の危機とも言われるパンデミックにより、私たちの経済活動や社会生活を一変することとなりました。

急激な広がりを見せた新型コロナウイルスの脅威は私たちの組織を変化させることになり、WEBセミナーやハイブリッド例会など、空間の制約を取り除き参画を向上させる手法として新しい可能性を示しました。

これは、かつて先輩諸兄姉の皆様がされてきたように、時代や環境に左右されず、いま自分たちになにができるのか、志を同じくする仲間と共になにを成すべきなのかを考え、英知と勇気と情熱を結集する起点として大阪のまちのために様々な運動を広げるべく試行錯誤してきた結果です。

また、本年度は創設より70年で初めてJCI会頭を輩出することができ、国境を越えた共創を生み出す大きなチャンスを私たちは得ることができました。

我々は未来がどうなるかわからない中でも、人類の連帯による自然との共生、多様性を結集する共感、新たな価値を生み出す共創を2020年代運動基本方針として掲げ、共に生き、共に感じ、共に創りあげていくことで人びとが明日への希望を咲かせる大阪を、これからも創造してまいります。

本年度の活動に対し、多くのご支援をいただきました皆様にご心より感謝申し上げますと共に、2021年度の大阪青年会議所への本年度以上のご理解とご協力をお願い申し上げます。

直前理事長 挨拶



直前理事長
小嶋 隆文

平素より、一般社団法人大阪青年会議所の活動に対し、行政、企業、教育機関、団体、市民の皆様にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

「平成」から「令和」という新時代が幕を開け、G20国際サミットの開催や国際博覧会の開催決定により国内だけでなく世界からも注目を集め、更なる機運が高まる大阪において「粋都大阪の実現～共に社会を変える主人公となれ～」をテーマに、小倉康宏理事長の下、誰もが輝ける社会を実現するべく活動を展開して参りました。

本年度、大阪青年会議所は70周年を迎え、より一層大阪に住みくらす皆様とのパートナーシップをより強固なものとして、大阪から日本へ、日本から世界へと国際都市大阪の存在感を力強く発信するべく事業を実施して参りました。

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通年のように運動発信をすることができず、大阪青年会議所としても試練の年でもありました。

「何もできない」ではなく「今何ができるのか」を考え、思考と行動という挑戦を繰り返し、2020年代の運動方針に定められた、「共生」「共感」「共創」から生まれる持続的価値を創造し続け、日々の研鑽を怠ることなく弛まぬ努力を積み重ね組織をアップデートすることができたと確信しております。

結びとなりますが、2020年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

役員挨拶



特別顧問
竹田哲之助

本年度は、大阪のまちにとっても私たち大阪青年会議所にとっても大きな節目となる一年でした。

今なお続く、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、大阪における経済の大きな柱であったインバウンドを著しく減少させるなど、大幅なマイナス成長に引き起こし、市民に大きな不安をもたらしました。しかしながら、一方ではデジタル技術の活用が大きく推進されるなど、Society5.0等に代表される未来社会の在り方に一条の光が差し、未来に対する期待感が高まるとともに、「大阪・関西万博」の開催にむけて、改めてその重要性が認識されることになりました。

私たち大阪青年会議所は、70周年を迎えるにあたって、コロナ禍の現状を鑑み、記念式典のハイブリッド開催など、青年会議所活動の新たな在り方を模索してまいりました。

そのような中で新たに示された2020年代運動方針は、今後10年間、新たな時流を生み出す組織として産官学民を巻き込み、力強く推進されるものと確信いたしました。また、大阪青年会議所70年の歴史において、初となるJCI世界会頭を輩出することとなり、これまで以上に、大阪と国際社会との繋がりを強固にする役割を担って参るとともに、培われたネットワークを基盤に世界平和の実現に向けた更なる運動を展開していく責任を自覚し、これからも大阪、日本、世界の発展に寄与する団体であり続けます。

結びとなりますが、2020年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



副理事長
高橋 秀智

本年度は、「粹都大阪の実現～共に社会を変える主人公となれ～」をテーマに掲げ、副理事長を務めて参りました。1950年の大阪青年会議所設立から70年目となる本年度は、初のWP（JCI会頭）の輩出に向け1年間を通じて直前理事長の小嶋隆文君が出向し務めるEVP（JCI副会頭）支援を行って参りました。

支援といたしましては、小嶋隆文君がEVPとして2020年度議長を務められたASPACを含む各諸会議において、円滑にWP立候補演説をおこなうサポートやCOC（大会実

行委員会）との連携を図って参りました。WPを輩出したことでJCIとの繋がりが更に強固となり、共感される都市としての魅力を高め、多くの国際社会とのパートナーシップを組み、大阪青年会議所に国際色豊かな人材が一層溢れると確信しております。

結びとなりますが、2020年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



副理事長
村尾尚太郎

本年度は、「粹都大阪の実現～共に社会を変える主人公となれ～」をテーマに掲げ、会員開発委員会（共感）、会員開発委員会（共生）を副理事長として担当させていただきました。

平成から令和という新たな時代となり、世界から大きな期待を寄せられている大阪を牽引していく、社会の変革に挑戦し続け、社会に変化を生む使命感をもったリーダーの育成に努めて参りました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面での会議、事業ができない中でも、オンラインを駆使した多くの事

業は、メンバーの友情をより強固なものへ変え、このような社会情勢の中でも仲間と切磋琢磨し未来へ挑戦し続ける人財へと育成して参りました。

また、多くの学びを通じて、会員が組織の成り立ちを認識し、活動の意義を理解し、自らの人生に使命を課し、行動に移し、一人ひとりが大阪を牽引するリーダーとなれたと確信しております。

結びとなりますが、2020年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



副理事長
植松 康太

本年度は、「粹都大阪の実現～共に社会を変える主人公となれ～」をテーマに掲げ、世界共創室、国際人材交流委員会を副理事長として担当させていただきました。

世界共創室では、大きな変化をともなう時代の潮流を読み、既存の価値の掛け合わせから新たなイノベーションを起こし、共創により新たな価値を生み出す人財を育成するために運動を推進して参りました。

今年度のような激動の時代を生き抜くためには、未来の社会をデザイン思考で思い描き、未知の領域に臆することなく挑戦する人財が必要であり、これからの世界を舞台に活躍する高校生を対象に、今までにないビジネスモデルに触れ、

社会に対する想いをビジネスへと昇華させるアカデミー形式の事業をオンラインにて開催致しました。

時代の変化とともに、その在り方を変えてきた産業やサービスに触れることで、新たな価値を生み出すことの重要性に気づき、また、これから訪れる国際社会の未来に向け、受け継がれた文化や技術に加え、多くの国際交流を図り、共創によって新たな可能性を生み出す人財を育成できたと確信しております。

結びとなりますが、2020年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

役員挨拶



副理事長
島田 直樹

本年度は、「粋都大阪の実現～共に社会を変える主人公となれ～」をテーマに掲げ、共生社会室、共感都市創造委員会を副理事長として担当させていただきました。
共生社会室では「パートナーシップで共生社会を実現しよう!」をテーマに掲げ、G20の開催や日本万国博覧会開催など国際社会から共感される都市としての魅力を高め、さらに接点を強め、新たなパートナーシップを結び共生社会を実現する運動を推進して参りました。ですが、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外国人の数は激減し、国際社会との関係性を持つことも難しくなりました。

しかし、我々は「今何ができるのか」を考え、行動し、誰も

が活躍できるよりよい環境や仕組みを創る人財を創出するために、先進国に遅れをとっているジェンダー平等を実現するため、梅花女子大学様とパートナーシップを組み、女性にとってめざすべき姿となるリーダーシップとはなにかを未来ある学生たちに、自らの将来や、生き方について真剣に向き合う場を提供させていただきました。個人や企業とともに共生社会の実現について考え、国籍や性差に捉われない、大阪の新たな魅力を想像できたと確信しております。

結びとなりますが、2020年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



副理事長
平井 直哉

本年度は、「粋都大阪の実現～共に社会を変える主人公となれ～」をテーマに掲げ、青少年育成室、未来社会構築委員会を副理事長として担当させていただきました。

青少年育成室では、「社会が一体となり未来の主人公を育もう!」をテーマに掲げ、子どもたちが置かれた環境を理由に夢を諦めることのないよう、未来志向で理想の自分を思い描き、環境に左右されることなく生き抜く強い力を育み、それぞれの個性を尊重し磨き合える社会を実現する運動に取り組んで参りました。

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により通

年のような事業を行うことはできませんでしたが、スマイリングプロジェクトでは、多くの団体、企業様にもご協力いただき、ホームページやSNSを通じて誰もが自分の夢を実現できる理想の未来を共に築き上げていく社会の一員として尊重すべき個性を磨き合える社会の実現に大いに寄与したと確信しております。

結びとなりますが、2020年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



専務理事
梶 和也

本年度は、「粋都大阪の実現～共に社会を変える主人公となれ～」をテーマに掲げ、1年間組織運営に努めて参りました。

1950年の大阪青年会議所設立から70年の節目を迎えた本年度は、育成に主眼を置いた会員開発、適正な収支計画に則った健全な財務体質、誰もが主人公となれるリーダー開発の3本柱を主軸に1年間運営をさせていただきました。

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により多くの事業がオンライン開催となりましたが、11月には最大限の感染予防対策を講じた上で、創立70周年記念式典を開催させていただく事ができました。

また、財務面や運営面では、事務局運営や会計体制の大幅な見直し、諸規則の改訂をはじめ思考と行動という挑戦を繰り返し、組織基盤の強化を図って参りました。

大阪青年会議所がさらに社会から共感を得られる団体として率先して行動を起こし、まちや市民の発展に寄与されますことを祈念申し上げます。

結びとなりますが、2020年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



監事
吉井 雅俊

本年度は、「粋都大阪の実現～共に社会を変える主人公となれ～」をテーマに掲げられ、小倉理事長の力強いリーダーシップのもと、全会員が丸となって、誰もが活躍する共生社会の実現、子どもの純粋な夢に共感する社会の実現、共創を拓ける人材の育成という各分野の目的が果たされましたことを確認いたしました。

また、171名の新入会員を迎えるとともに、120名を超える出向者を支援するなど、内外へ対し、組織の存在感を発揮されました。そして、本年度は新型コロナウイルス感染症対策によって月例会や様々な事業がWeb開催となるなど例年通りとはいかない状況でも運動推進のための強固な組織構築につきましても確認して参りました。すべての室、委員会が連携を図り、事業を実施するなかで、会員一人ひとりが、自らを磨き変化を起こし、社会を変える主人公となったことは大きな成果であったものと考えます。

本年度の運動の推進、並びに強固な組織体制を構築できたことは、ひとえにOB諸兄弟、行政をはじめとする外部関係者の皆様、そして運動に共感いただき、様々な事業へご参加いただきました市民の皆様のご協力によるものであると確信しておりますとともに、心より御礼を申し上げます。

結びとなりますが、今後益々大阪青年会議所並びに大阪のまちの発展をご祈念申し上げます。



常任理事 事務局参与
田中 昌浩

本年度は、小倉理事長が掲げられます「粋都大阪の実現～共に社会を変える主人公となれ～」をテーマに1年間運動を展開して参りました。

また、1950年の設立から70年の節目を迎える大阪青年会議所として、明るい豊かな大阪の実現に向けて、メンバーの活動しやすい環境作りを目指し、事務局運営をさせていただきました。

財務面や運営面では一般社団法人として8年目を迎え、昨年度導入したシステムの見直し、継続、そして更なる新型コロナウイルス感染症拡大による事務局体制の変更等、大阪青年会議所に所属する全ての人に配慮した環境創りを図って参りました。

本年度、私たちの行ってきた運動が、2021年度以降の組織やまちに志が引き継がれ、大きく飛躍されることを祈念いたします。

結びとなりますが、2020年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

2020年度 年間事業報告



1/7

新年名刺交換会



1/18

京都会議



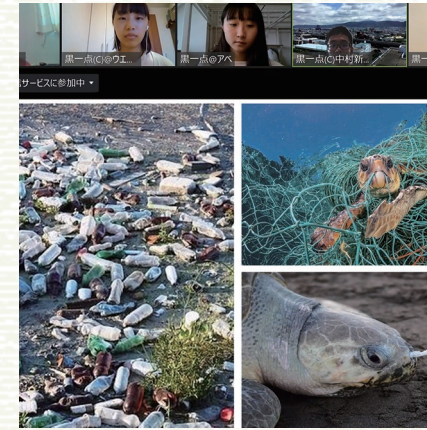
2/3

三大厄除け



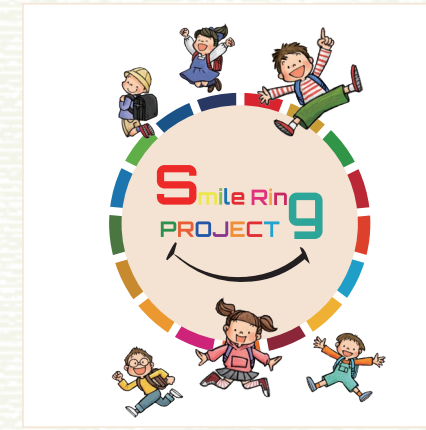
7/5

献血にいったんでプロジェクト
大阪 野田阪神



7/27~8/2

Global Young
Academy Osaka



7/28~10/31

SmaileRing PROJECT



2/1~2/2

ワンワールドフェスティバル



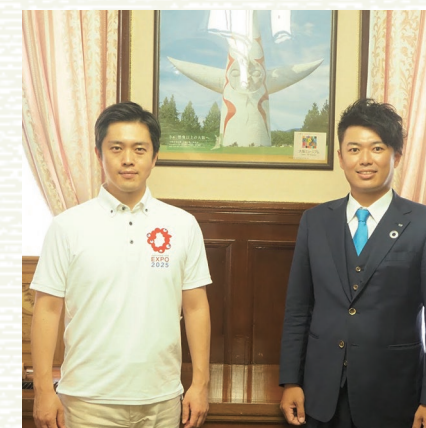
2/21~23

金沢会議



4/28

整肢学院マスク寄贈



9/11

吉村知事訪問



10/13

十三記念病院寄付



9/20

粋の祈りプロジェクト



5/12~6/29

JCIセミナー(計12回)



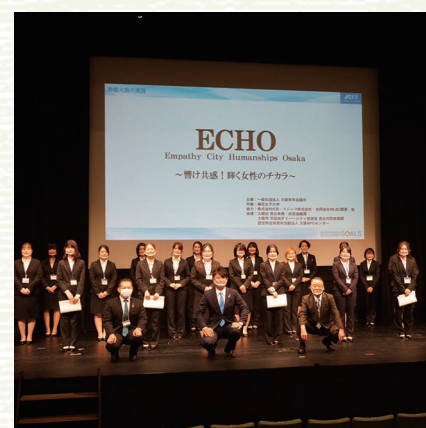
6/3~8/5

ECHO~響け共感!輝く女性
のチカラ~前期



6/14

献血にいったんでプロジェクト
大阪



9/21

ECHO~響け共感!
輝く女性のチカラ~後期



10/23

投票にいったんでプロジェクト



11/2

70周年記念式典



会員開発委員会 (共感)

基本方針

想いが響きあう社会を生み出す主人公となれ！

事業計画

私たちは、社会から期待される組織の姿を認識し、人びとの想いを未来へとつなげる使命を自覚し、仲間との共創が社会に共感を拡げること的理解し、利他の行動を生む起点となる気概を携え、社会に変化を生む使命感をもった最後の砦となるリーダーを育成します。

事業報告

1, 新入会員の拡充の実施	
事業内容	新入会員拡充を通じて社会から期待される組織の姿を認識するリーダーを育成します。
実施時期	2020年1月～2020年3月
場所	中之島LOVECENTRAL、大阪市中央公会堂
参加人数目標・報告	目標：200名／結果：171名
実施方法の工夫	拡充セミナー、異業種交流会を通じて大阪青年会議所が都市の発展を願う持続可能な社会の実現に挑み続けてきた組織であり、そこに所属する会員の想いに触れる機会を提供致しました。
事業目的に達した点	<p>異業種交流会を通じて、多くの現役メンバーと交流できる機会を提供したことにより、様々な角度から組織の魅力を伝えることができました。</p> <p>また、昨年入会し本年度幹事を務める3名のメンバーによるパネルディスカッションを行ったことにより、入会した後の活動のイメージを明確にでき入会に対する期待感を醸成できました。</p> <p>拡充セミナーを通じて、会員開発委員会メンバー2名を含む4名の現役メンバーによるプレゼンテーションを行ったことで、所属することで成長の機会が多くあることを知り、ビジネス等へのアウトプットを具体的に知ることでJCを通じて発展につながる期待感を醸成できました。</p>
事業目的に達しなかった点	大阪JC説明会の実施について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、機会を提供することができませんでした。

2, 月例会の企画と実施 (入会式) 事業	
事業内容	新入会員を迎える入会式を通じて、人びとの想いを未来へとつなげる使命を自覚するリーダーを育成します。
実施時期	2020年04月08日 (水)
場所	新型コロナウイルス感染拡大防止のためWEBでのリモート開催
参加人数目標・報告	目標：新入会員171名／結果：新入会員123名 フォローアップ：新入会員5名
実施方法の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止措置をとり、理事長メッセージ、委員長メッセージをWEBにて配信し致しました。
事業目的に達した点	理事長メッセージ、委員長メッセージをWEBにて配信し、大阪青年会議所が本年度進む方向性、目指すべきリーダー像を新入会員へ伝え、人びとの想いを未来へとつなげる使命を自覚してもらいました。
事業目的に達しなかった点	役員紹介・新入会員登壇・バッジ授与式・新入会員代表挨拶を通じて、大阪青年会議所の一員としての共に活動していく意識を高揚してもらうことが新型コロナウイルス感染拡大防止のため一堂に会しての開催ができませんでしたので目的に達しませんでした。

3, 新入会員の指導育成事業

事業内容	新入会員で構成された各リーダーズ会議にて、献血にいったんでプロジェクト大阪事業、卒業事業を構築することで、仲間との共創が社会に共感を拡げること的理解し、社会に変化を生む使命感をもった最後の砦となるリーダーを育成します。
実施時期	献血にいったんでプロジェクト大阪事業：5月15日 (金) ～7月9日 (木) 卒業事業：9月30日 (水) ～12月23日 (水)
場所	献血にいったんでプロジェクト大阪：大阪府下各地 卒業事業：Zoom開催 各リーダーズ会議：大阪青年会議所事務局
実施方法の工夫	2つの新人企画事業の他に、渉外リーダーズ、選挙リーダーズ、灯籠リーダーズ、SDGs社会人講師リーダーズ、拡大リーダーズと年間の活動を細分化することにより、知識を深めてもらうように指導育成致しました。
参加人数目標・報告	<p>目標 献血にいったんでプロジェクト大阪：新入会員128名 卒業事業：新入会員128名</p> <p>結果 献血にいったんでプロジェクト大阪：新入会員114名 卒業事業：新入会員98名</p>
事業目的に達した点	<p>献血にいったんでプロジェクト大阪：献血活動の実施背景や目的を理解してもらい、小委員会ごとに活動目標を掲げ動員計画としてあらゆる広報の手法を使い、献血の大切さを発信してもらうことにより、仲間との有益なつながりから生まれるより効果的な新しい力が都市をより良い方向へ導いていくことを知ってもらいました。</p> <p>卒業事業：リーダーズ会議を実施し、委員会メンバーを巻き込んでいくプロセスの中で共感を生んでいき新入会員一人ひとりに圧倒的な主体者意識をもって事業構築をしてもらうことにより、仲間と成し遂げてきた大きな成果を社会に変化を生み出す圧倒的な主体者意識で未来を創造していく行動力へと昇華してもらいました。</p>
事業目的に達しなかった点	参加人数について目標人数に達しませんでした。

4, なにわ淀川花火大会運営への協力代替事業

事業内容	コロナウイルスで衰退した都市を、市民の心ひとつにして人びとが自ら再生する想いをつなげるために新入会員リーダーズを発足し大阪の都市を良くしたいと願う他団体の人たちと共に企画に賛同してもらい協働することで、利他の行動を生む起点となる気概を携えるリーダーを育成します。
実施時期	リーダーズ会議期間 8月5日 (水) ～10月3日 (土) 事前オリエンテーション 第1部 09月12日 (土) 10:00～12:00 第2部 09月12日 (土) 13:00～15:00 本事業 09月20日 (日) 12:00～22:00
場所	【リーダーズ会議・オリエンテーション】大阪青年会議所事務局会議室 【本事業】道頓堀川 (港町リバープレイス)
参加人数目標・報告	目標：新入会員128名／結果：新入会員127名
実施方法の工夫	大阪の企業、大阪の小学校、各種団体へのパートナーシップと連携をとり、大阪青年会議所メンバーと地域の方々と大阪の持続可能な都市の発展につながるよう、協働していくことで多くの共感を市民へ拡げることができました。
事業目的に達した点	新入会員リーダーズ会議が中心となって、コロナウイルス蔓延で衰退した都市を、市民の心ひとつにして人びとが自ら再生する想いをつなげるためにパートナーシップを構築し連携できたことで、誰よりも率先して都市の未来のために行動し続ける自らの役割と責任を全うする意欲を沸き立たせてもらいました。
事業目的に達しなかった点	無し

会員開発委員会 (共感)



会員開発委員会（共感） 委員長
 奥野 誠司

私たち、会員開発委員会（共感）では、「粋都大阪の実現」に向けて新入会員を対象に、社会から期待される組織の姿を認識し、人びとの想いを未来へとつなげる使命を自覚し、仲間との共創が社会に共感を拡げることの理解し、利他の行動を生む起点となる気概を携え、社会に変化を生む使命感をもった最後の砦となるリーダーを育成すべく、運動を展開してまいりました。

4月の新入会員入会に向け、昨年末から計画し実施してきた拡充事業では、異業種交流会、未来を切り拓くリーダーシップセミナーといった手法を用いて、様々な角度からの組織の魅力を伝え、所属することで成長の機会が多くあること伝え、ビジネス等へのアウトプットを具体的に知ること社会から期待される組織の姿を認識してもらいました。

4月に行われた入会式では、新型コロナウイルス感染拡大防止措置をとり、理事長メッセージ、委員長メッセージをWEBにて配信し、大阪青年会議所が本年度進む方向性、目指すべきリーダー像を新入会員へ伝え、人びとの想いを未来へとつなげる使命を自覚してもらいました。

また、年間の活動を細分化し、新入会員で構成するリーダーズ会議を設けることによって、多様な立場の新入会員同士が議論を繰り返し、新しい価値を共に創りあげ、未来を切り拓く当事者として事業構築を体現してもらうことで、仲間との共創が社会に共感を拡げることの理解し、利他の行動を生む起点となる気概を携え、社会に変化を生む使命感をもった最後の砦となるリーダーを育成できたと考えております。9月に実施された新入会員が新規事業として創り上げた「粋の祈りプロジェクト」では、企業、団体、市民、大阪市の小学校とパートナーシップを構築し、多くの市民へ共感を拡げることができました。

結びになりますが、当委員会の事業実施や新入会員の指導育成にあたり、ご支援賜りました全ての皆様に感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

STAFF

委員長

奥野 誠司

幹事

藤井 啓太
 清水 勇輝
 島田 礼
 野中 雄生
 徐 大一

副委員長

友藤 忠昭
 狩野 雅彦
 叶 裕一
 山川 正時
 藤原 宗太
 緒方 真悟
 榎 文明

委員

渥美 宙
 石橋 達也
 大西 正敏
 世古口 佳典
 畢 志鵬
 藤井 準
 岡部 芳明
 高橋 弘樹
 中川 譲治
 畠 伸太郎
 本田 泰河
 藤浪 寛
 上野 肅公
 岡山 和弘
 川間 亮佑
 岸 磨沙美
 白井 輝良
 多田 雄一
 成田 豊
 古庄 敏之
 森田 修二
 安渡 慶
 横 大貴
 石原 佑也
 平岩 佑彦
 伊藤 健太郎
 小原 佳人
 辻 秀明
 松田 健作
 内田 哲
 石坂 省悟
 斎藤 亮太
 阪倉 篤史
 徳岡 大輔
 毒島 光志

大和 竜司
 菅野 裕明
 安東 貴則
 大屋 麻衣
 河村 址喆
 鄭 晴香
 大城 晃司
 野田 輝敬
 福島 隆史
 福本 俊彦
 三島 愛
 太田 潤
 小川 洪一
 金本 直哉
 小松 昭絵
 澤村 高明
 津崎 弥生
 寺田 翔
 政保 浩司
 山出 智仁
 渡邊 弘行
 藤原 小夜
 岩田 佳代子
 芝垣 勇次
 末吉 大輝
 山根 匠太郎
 濱口 大希
 今村 充
 川崎 絵里奈
 南 侑典
 柴田 雅也
 石川 健太郎
 簀田 慧真
 全 智史
 山縣 智史

岡田 美和
 新城 優
 田中 裕樹
 田邊 脩児
 坪倉 佑輔
 三根 正樹
 倉田 祐宏
 桑原 香奈
 漢 響
 平山 陽介
 三宅 佑馬
 保田 敬泰
 山側 良彦
 山喜 百代
 吉田 三智男
 脇田 孔明
 足立 稚和
 生島 将義
 市川 一晴
 植村 繁
 鈴木 拓弥
 立岡 峻
 細井 誠人
 松浦 和寿
 山方 奨
 山本 恵
 井島 祐樹
 金津 博昭
 蟹山 昇宏
 佐野 健二
 永木 友雪
 中谷 圭佑
 名和 史紘
 西辻 誠人

三木 宣人
 矢島 大資
 綾木 彰吾
 井浪 剛
 岡村 奈々
 清水 貴一
 城間 辰裕
 千田 由也
 辻野 貢広
 寺田 雅基
 中村 優子
 橋本 涼
 原 崇智
 新井 結花
 大熊 慶久
 木戸 大祐
 阪口 亮
 鈴木 文崇
 千崎 力世
 高松 正也
 中井 敬藏
 藤方 信輔
 浅野 和史
 内田 恒平
 大河内 信宏
 金 哲熙
 黒田 大輔
 佐埜 将夫
 嶋田 智文
 市位 修平
 岡田 一志
 京田 大輝
 竹田 智幸
 中川 章浩
 西村 直記

藤田 哲平
 谷 竜也
 由利 卓也
 中村 佳織
 赤田 純也
 峯 悠麻
 岡田 則人
 笹倉 龍吉
 井澤 貴典
 藤村 亮太
 岡田 竜馬
 濱田 智也
 藤原 誠也
 北山 裕輔
 森本 晃司
 青山 混平
 森本 嘉奈子
 桐野 翔伍
 植田 林平
 小池 祐吾
 木下 孝之
 岸本 和也
 尾近 加織
 草開 拓哉
 川原 美幸
 木戸口 大志
 柴田 祥行
 石井 結衣
 中田 良作
 福森 麗奈
 上坂 駿治
 平野 祐基
 夏目 麻央
 青木 千恵





会員開発委員会（共生）

事業報告

3，SDGs 社会人講師の企画と実施	
事業内容	大阪市内の小学生に対し、SDGsの基本的な理解とSDGsに取り組もうとする意識の涵養を行うための社会人講師の実施
実施時期	2020年9月11日から10月24日
場所	大阪市立大宮小学校・高倉小学校・高殿南小学校・深江小学校・友洲小学校
参加人数目標・報告	【実登録数】 総合計1029名 対外 合計720名 第1回 09月11日(金) 大阪市立大宮小学校(2クラス 合計63名) 第2回 09月18日(金) 大阪市立高倉小学校(4クラス 合計141名) 第3回 10月03日(土) 大阪市立高殿南小学校(1クラス 合計39名) 第4回 10月17日(土) 大阪市立深江小学校(7クラス 合計177名) 第5回 10月24日(土) 大阪市立友洲小学校(8クラス 合計300名) 対内 合計324名 役員 1名 委員長2名 旧人193名 新入会員128名
実施方法の工夫	キックオフセミナーの開催／リーダーズ会議の開催
事業目的に達した点	仲間の価値観を尊重しながら共に社会課題の解決に情熱的に取り組もうとする積極的な意識を育んでもらうことができました。
事業目的に達しなかった点	新型コロナウイルスの感染予防のため、小学校側から学校に来る人数を制限されたため、授業実施日は、講師と撮影担当以外の方にはご参加いただけない状況となりました。 授業実施風景を全員に見ていただけなかったのは、新入会員全員に達成感の先で得られる社会課題の解決に情熱的に取り組もうとする積極的な意識を涵養してもらえなかった点は事業目的に達しませんでした。

4，新入会員拡大事業の実施（11月度月例会）

事業内容	女性の活躍をテーマに、11月度公開月例会を実施し、次年度拡充対象者の掘り起こしを行う。
実施時期	2020年11月25日
場所	帝国ホテル大阪 孔雀の間
参加人数目標・報告	参加目標人数 合計 620名 対内 420名 対外 200名 実登録者数 合計 435名 対内 338名 対外 97名
実施方法の工夫	講師に子育てと仕事を両立さて、官僚として女性活躍を推進され、現在は昭和女子大学理事長として女性のキャリア教育、グローバル教育を推進される坂東眞理子様をお招きし、女性活躍社会の強みを語っていただきました。 また月例会内で、2020年度入会の新入会員に女性活躍をテーマにパネルディスカッションを開催、前室にブースを設置し大阪青年会議所の魅力を発信しました。
事業目的に達した点	講演について、女性の活躍が与える組織への良き影響を明快に紐解いていただけたことで、多くの参加者から女性活躍組織の構築に対する意識が高めることができました。 また、第2部パネルディスカッションでは、新入会員に今後より一層大阪青年会議所に参画していこうという意識の高まりを得ることができました。一般参加者からも、大阪青年会議所の魅力が伝わる内容であったとの感想をいただきました。 そして、新入会員には、拡大事業を通じて拡充の重要性について理解してもらい、自分たちに共感し、新たな仲間を増やすきっかけをつくることで、青年会議所の運動発信に参画する行動力を身につけてもらうことができ、人びとと共に誰もが輝く社会が求める新たな価値の創出に温故知新の精神で妥協なく挑戦し続ける行動力を身に付けてもらえたと考えます。
事業目的に達しなかった点	新型コロナウイルス禍の中で、動員に尽力しましたが、実登録は会員338名、拡充対象者97名と目標に達することができませんでした。

基本方針

誰もが輝く社会を生み出す主人公となれ！

事業計画

私たちは、誰もが生を謳歌する社会を思い描き、個性を高めあう関係の懸け橋となる使命を自覚し、多様な個性を受け容れる精神性を持ち、時代が求める価値を生み出す創造力を携え、人びとと共に社会変革に挑戦し続けるリーダーを育成し、粹都大阪を実現します。

事業報告

1，新入会員の拡充の実施	
事業内容	新入会員の募集
実施時期	2020年1月1日から同年2月29日
場所	大阪市中央公会堂・Grace Bari・大阪青年会議所事務局
参加人数目標・報告	200名を目標としておりましたが、171名入会
実施方法の工夫	「未来を切り拓くリーダーシップセミナー」・「異業種交流会」・「事業説明会」を通じて、大阪青年会議所の魅力を発信する事業を展開しました。
事業目的に達した点	多くの現役メンバーと交流できる機会と会員開発委員会メンバー2名のパネルディスカッションにより、誰もが活躍できるの実現に向けて情熱的に活動する組織の姿を拡充対象者にお見せする機会となりました。
事業目的に達しなかった点	入会目標人数に達しなかった。

2，新入会員セミナーの実施

事業内容	4月1日入会の新入会員に対し、青年会議所の基礎を学んでいただく、オンラインセミナー
実施時期	令和2年4月1日から同年4月30日
場所	Youtube配信による開催
参加人数目標・報告	新入会員171名全員の受講／全員の受講を達成いたしました。
実施方法の工夫	本年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、対面開催が不可能となったため、Youtubeによる配信を駆使し、事前に動画撮影で、対面と同じ効果が得られるよう、セミナー内容を工夫しました。
事業目的に達した点	全員の受講を達成し、運動発信という考え方の基礎を新入会員に理解いただけました。
事業目的に達しなかった点	無し

会員開発委員会 (共生)

会員開発委員会 (共生) 委員長
三木 章広



STAFF

委員長

三木 章広

幹事

高橋 究
中谷 庄太
谷口 聖
糸野 慎一郎
正木 太一郎
北山 翔吾

副委員長

和田 益明
笹田 真義
伊達 則幸
磯田 達也
松本 茂大
山田 竜輔
渡邊 みき

委員

村川 貴史
石井 瑞穂
石原 義明
岩本 樹明
小淵 隆大
三好 雅彦
池上 恭介
高瀬 隆之
江崎 辰典
林 弘治
宇野 裕明
工藤 恵太郎
西川 武尊
橋野 久人
佐飛 真梨
磯貝 克樹
金子 大智
城戸 邦宏
合林 茜
竹川 聡
田代 忍
山口 敦央
池田 保栄
臼井 慶宜
遠藤 剛紀
皆光 燈
清本 世哲
坂本 直未
澤田 武志
杉田 哲明
高橋 佳奈
東條 恭考
原田 大資
森島 康文
森本 晃太郎

湯浅 博人
川崎 哲
仲 雅子
中原 明日香
則武 直樹
林 沙織
松尾 秀一
丸山 雄基
宮芝 秀磨
山口 達弘
若松 修司
古川 直樹
細川 貴之
矢野 弘和
川口 晃司
久堀 修平
山田 倫久
高橋 裕治
森下 港平
井亀 誠之
上田 大哉
伊村 亮輔
堤 敦紀
榊井 翔太
青山 泰洋
木戸 紀光
東谷 優
森下 雅之
深森 雅史
福野 翔太
眞井 信行
岡村 芳孝
西森 直紀
柳生 花苗
田中 克昌

大橋 正幸
森賀 陽介
曲 亮大
松井 行秀
稲留 佑美
布川 真由美
楨 浩光
藤原 一徳
高橋 理
西村 優
藤田 訓士
北野 広祐
松田 佑介
東 亮太
市村 健
菊地 人誉
城戸 大輝
高橋 寿志
高間 公綺
西端 康一
野口 太
松本 和也
山口 智椰
井上 博貴
木村 未紗子
澤田 大師
田邑 祐輔
増田 幹弥
笹田 孝一
立石 泰啓
早川 拓郎
山川 由理恵
南 寛和
荒川 博章
石山 智章

川口 正輝
小林 樹生
多田 篤史
長原 龍之祐
畑田 涼太
和田 良直
岩垣 葵
金井 春樹
北野 良祐
阪本 達人
篠原 一政
西住 祐弥
濱谷 画
堀谷 啓嗣
山下 晃一
大津 慶
岸田 晋平
久保田 健治
田所 良隆
西村 竜一
二田 恭輔
原多 大器
山下 福廣
吉田 由佳
金井 優子
小出 悠介
竹田 清恭
田中 一義
千阪 耕平
遠山 明宣
堀 卓朗
山本 将大
伊田 宗樹
瀬井 一貴
浦川 大将

窪田 祐也
村上 晴香
及川 千晴
香川 晨雄
西原 義広
小川 真
山小川 健太
佐竹 すばる
青野 直也
井上 彰宏
中村 紀海人
大野 良太
徳野 元基
仲野 祐介
前田 将大
松下 由圭
三原 繁明
服部 将賢
金山 洋樹
柳原 覚太郎
山崎 卓哉
前田 茉梨菜
山本 誉士
北原 雄次
小野 智樹
社 達郎
衣斐 祥悟
竹内 英亮
大井 昌平
小林 俊平
三原

私たち会員開発委員会 (共生) では、「誰もが輝く社会を生み出すリーダーとなれ!」を委員会テーマに掲げ、新入会員の拡充に際し、「未来を切り拓くリーダーシップセミナー」、「異業種交流会」、「事業説明会」を開催し、入会を検討していただいている皆様に、私たちの目指す社会の姿や、その実現に向けて情熱的に取り組む会員の姿を見ていただき、大阪青年会議所の魅力を大阪で住み暮らす同世代の青年に発信させていただきました。また、4月には、新入会員の皆様に対し、新入会員セミナーを通じ、大阪青年会議所の会員としてのなすべきこと、会員としての模範を示すことで、これからの時代を牽引していく青年経済人として課された使命を自覚していただきました。また、コロナウィルスの影響により、今年度中止となった整肢学院児童レクリエーションの企画と実施の代替事業である「SDGs社会人講師」を実施し、大阪市内5つの小学校約770名の児童に対し、SDGsを普及する事業を展開いたしました。授業構築の過程においては、新入会員の皆様に、多様な個性をぶつけ合い真剣に議論してもらうことを通じて、互いの考えを尊重しつつ、よりよい価値を生み出していくとする積極的な精神性を涵養してもらいました。また、JCI・日本JC主催事業への参画とAPDCセミナーを通じ、既存の枠組みにとらわれない広い視野を身に付けてもらうとともに、新たな価値を生み出す柔軟な思考を身につけていただき、時代が求める新たな価値を生み出せる創造力を涵養していただきました。さらに理事選挙への参画・新入会員拡大事業を通じ、人びとと共に社会の変革に挑戦し続ける意欲を涵養いたしました。

これら事業の成果により、誰もが輝く社会を生み出していく資質を新入会員に身につけていただくことができたと考えております。結びとなりますが、新入会員の指導育成にあたり、ご支援賜りました全ての皆様に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。





室テーマ **パートナーシップで共生社会を実現しよう！**

共生社会室 室長 委員長
山岸 将幸



大阪は子どもの相対的貧困率が全国と比べて高く、実に5人に1人が現代で享受できる教育や生活水準をもつことが困難な環境にいるとされています。また人工知能や科学技術の進歩により、人間が担ってきた労働をテクノロジーが代替することが予想され、将来の就業に対しての不安が大きくなっています。反面、YouTuberやプロスポーツ選手の出現など、今まで存在しなかった新たな職業が登場し、子どもたちの将来の選択に大きな可能性を生み出しました。

そこで、私たち共生社会室では、「パートナーシップで共生社会を実現しよう！」をテーマに掲げ、誰もが活躍できる理想の社会を思い描き、より良い未来へと周囲を牽引する責任感を携え、多彩な個性が最大限に発揮される仕組みを見出し、あらゆるパートナーシップの中核をなす気概を有し、自らの行動力で人びとを共生へと導く人財を創出すべく、運動を展開して参りました。

共感都市創造委員会では、女子大学生を対象とし、産官学民の連携で、誰もが活躍できる理想の社会の実現、そして共感される都市大阪を実現する事業（前期）として、6月～8月に【ECHO～響け共感！輝く女性のチカラ～】を開催し、梅花女子大学様、大阪の企業様とパートナーシップを組み、大阪の企業様をモデルに「女性の働き方」について侃侃諤諤の議論を繰り返し行っていました。そして、この事業（後期）の集大成として、考えていただきました「女性の働き方」の解決策を9月にエル・おおさかより、大阪に住み暮らす人びとに対してYouTubeで発信していただきました。また、7月度月例会のリモートによる開催、そして、大阪都構想の賛否を問う投票の促進を促す公開討論会【投票にいったんで！Project】の開催、本年度はコロナウイルスの影響で当初予定していた実地開催は出来ませんでしたが、都市の強みや課題をありのままに理解し、産官学民の連携で多様性を受容する社会を見出し、都市の新たな魅力となる仕組みを創り出す人びとを創出することができました。

今年度ご協力いただいた多くの関係者の皆様のおかげで、私たちの目的を達成することができ、粋都大阪の実現につながることができました。心から感謝申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。

共感都市創造委員会

事業計画 私たちは、誰もが活躍できる社会を思い描き、より良い未来へと周囲を牽引する責任感を携え、個性が最大限に発揮される仕組みを見出し、あらゆるパートナーシップの中核をなす気概を有し、同志と共に共感される都市を築く人財を創出し、粋都大阪を実現します。

事業報告

1、共感都市創造事業の企画と実施	
事業内容	市民を対象としたあらゆる連携で都市の新たな魅力を創造する仕組みを構築する事業
実施時期	【前期】 06月03日（水）13：00～15：00 ファシリテーター事前勉強会 06月10日（水）14：40～16：10 趣旨説明、講演① 06月17日（水）14：40～16：10 講演②、グループワーク① 06月24日（水）14：40～16：10 グループワーク② 07月15日（水）14：40～16：10 グループワーク③ 07月22日（水）14：40～16：10 グループワーク④、プレゼンテーション練習 07月29日（水）14：40～16：10 最終プレゼンテーション①（8グループ） 08月05日（水）14：40～16：10 最終プレゼンテーション②（7グループ） 【後期】 09月15日（火）13：00～14：30 プレゼンテーション事前説明会 発表練習会 09月21日（月）13：00～15：30 プレゼンテーション発表（公開生放送）
場所	ビデオ会議ツールZOOM 09月21日（月）プレゼンテーションのみ エル・おおさか YouTube（ライブ配信）
参加人数目標・報告	【当初予定登録数】 ①プレゼンテーション事前説明会・発表練習会 総合計124名 対外 合計94名 対内 合計30名 ②プレゼンテーション発表（公開生放送） 総合計144名 対外 合計114名 対内 合計30名 【実登録数】 ①プレゼンテーション事前説明会・発表練習会 総合計127名（達成率：102.42%） 対外 合計94名（達成率：100.00%） 対内 合計33名（達成率：110.00%） ②プレゼンテーション発表（公開生放送） 総合計143名（達成率：99.31%） 対外 合計99名（達成率：86.84%） 対内 合計44名（達成率：146.67%）
実施方法の工夫	①プレゼンテーション発表（公開生放送） ②プレゼンテーション発表（動画のアップロード公開） ③産官学民へのアプローチをすることで、多くの人びとがすなわち産官学民全てにプレゼンテーション発表を見る・知る機会を提供する。
事業目的に達した点	産官学民の連携を実践し、多くの人びとが集う（視聴する）場においてプレゼンテーション発表をすることによって、パートナーシップをもって課題解決に取り組む意識を醸成し、物事を自分事ととらえて率先して行動する事の必要性和大切さを感じられる機会となりました。 よって、同志と共に共感される都市を築いていく人財を創出することが出来ました。
事業目的に達しなかった点	無し

共感都市創造委員会

STAFF

委員長

山岸 将幸

幹事

村井 絵里奈
金森 匡邦
松村 崇史
野口 拓郎
森 泰幸
華山 翔太

副委員長

尾崎 誠人
矢野 淳大
山崎 豪士
川崎 啓伍
中井 好斗
吉本 一美
川島 利之

委員

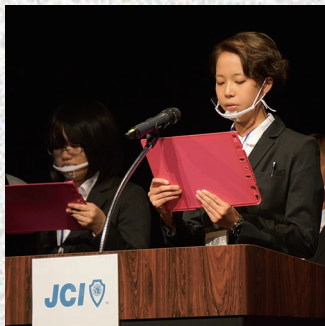
青山 快鳳
吉武 凉子
矢吹 保博
小倉 健宏
白石 将太郎
宮城 裕美
森田 俱巨
尾上 普美
大村 義道
上農 真
日下 亮
阪田 浩司
関谷 昌子
田中 克憲
津田 将吾
松野 徹也
山本 崇久
生塩 和也
小桐 裕介

國井 信男
久米 昂
小久保 皓司
後藤 行宏
小林 佑太郎
鈴木 順子
豊川 重国
中川 晋輔
南場 祐希
西尾 直樹
岩本 琢久
小川 英俊
小田桐 健太郎
橘川 亜紀
久保 大輔
小手 健裕
清水 大吾
野田 尚宏
北村 亮

尾崎 祐也
河原 圭佑
平井 裕司
石束 賢吾
松田 陽介
安井 洋平
三原 一馬
澤田 昌孝
八城 裕
岩田 砂衣子
秋山 篤司
古川 景
木村 光信
田口 開
小谷 知也
藤本 裕輔
坂上 洋平
柿田 裕司
川崎 貴

宮崎 靖恵
山本 祐
杉崎 悟
瀬戸川 彩
高瀬 樹
佐伯 祐太
有馬 大輔
岡 毅
棚橋 雅紀
宮川 真悟
富山 泰官
小林 俊介
山本 高広
山本 洋佑
山崎 勝司
飯田 優
西岡 天芳
林 恭平

松林 俊也
山野 美波
神谷 紘子
片岡 重人
森 祐輔
羽藤 将志
古谷 英司
半田 貴子
難波 裕貴



未来社会構築委員会

室テーマ 社会が一体となり未来の主人公を育もう！

青少年育成室 室長
福川 聡志



大阪は子どもの相対的貧困率が全国と比べて高く、実に5人に1人が現代で享受できる教育や生活水準をもつことが困難な環境にいるとされています。また人工知能や科学技術の進歩により、人間が担ってきた労働をテクノロジーが代替することが予想され、将来の就業に対しての不安が大きくなっています。反面、YouTuberやプロスポーツ選手の出現など、今まで存在しなかった新たな職業が登場し、子どもたちの将来の選択に大きな可能性を生み出しました。

そこで、私たち青少年育成室では、「社会が一体となり未来の主人公を育もう！」をテーマに掲げ、未来を切り拓く多彩な個性を受け止め、環境の変化によって生じる多様な可能性を見出し、人生における挑戦を支える知識と知恵を育み、独自の発想力で自らの道を選択する気概を有し、社会一体となって子どもの夢を応援し続ける人びとを増やすべく、運動を展開して参りました。

未来社会構築委員会では、大人を対象とした未来志向で「才能」を認め合う環境を創る事業として、大阪市中心公会堂で2月度月例会の開催、「第39回わんぱく相撲大阪府大会」を開催、そして、子どもを対象としたどんな環境でも「生き抜く力」を育む事業を構築し、大阪市内に住み暮らす大人と子どもを対象とした事業を展開していく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で予定をしていた事業の開催が出来ませんでした。

しかしながら、このような状況化だからこそ私たちに出来ることはないのかを考え、SmileRing PROJECTの事業を立ち上げ、大人と子どもに笑顔と活気を取り戻し、いかなる環境でも生き抜く力を育み、それぞれの個性を尊重し磨き合える社会の必要性を感じていただくことができたと思います。

結びに、事業実施にあたり、多大なるご協力を賜りましたすべての皆様に、心から感謝申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。

未来社会構築委員会
理事 委員長

池田 陽一



私たち未来社会構築委員会では「粋都大阪の実現」に向け、誰もが自分の夢を実現できる社会を構築する人びとを増やす事を目的に1年間活動して参りました。

このコロナ禍において大阪市長杯第39回わんぱく相撲が中止の運びとなりました。人との対面を避けた上で大阪青年会議所の運動発信の場としてインターネット上でできる「SmileRing PROJECT」を未来社会構築委員会で発信させていただきました。

新型コロナウイルスの影響により大阪のまちにも大きな影響が出てしまいました。そんなまちに笑顔と活気を取り戻したいと考え、この「SmileRing PROJECT」では大阪を土台とした様々な団体様と数々の著名人から動画20本、約7800アクセス、大阪に住み暮らす人びとのご協力を得る事ができ、写真総数413枚と事業を実施する事ができました。微力ながら大阪のまちに笑顔や活気を取り戻すことができたと考えております。

ご協力いただきました皆様、1年間有難う御座いました。

未来社会構築委員会

事業計画 私たちは、多彩な個性を受け止める寛容性を認識し、時代の変化から生じる新たな可能性を思い描き、人生の礎となる知識と知恵を有し、独創的な発想で夢を追い続ける気概を醸成し、誰もが将来を実現できる社会を構築する人びとを増やし、粋都大阪を実現します。

事業報告	1, 未来社会構築事業の企画と実施	
	事業内容	SmileRing PROJECT
	実施時期	2020年7月28日から2020年11月15日
	場所	ホームページ
	参加人数目標・報告	【目標】ホームページアクセス数:7700アクセス 『Smile Ring〜笑顔の環〜』参加予定人数:385名 【報告】近未来のぞき見トピックス 6011アクセス 応援メッセージ 7803アクセス 笑顔フォト・笑顔アート 413枚
	実施方法の工夫	ご協力いただいた各種団体様からのSNS発信や大阪青年会議所メンバーの結束を元に、様々な方へ発信していただきました。
事業目的に達した点		■ eスポーツ選手からメッセージのメッセージを発信しました。現在のeスポーツ選手は子どもの頃にはなかった職業で活躍されています。子どもの頃からeスポーツ選手を目指していたわけではなく、新しく生まれてきた可能性に気付いたからこそ今の活躍があるということを伝えることができたと考えます。 ■ 4本の動画を作成し、発信しました。日々進歩している技術革新や世界共通の目標であるSDGs、日本で起こりうる大きな地震災害の知識を伝え、自らも立ち止まることなく可能性に挑戦し続ける必要があると伝えることができたと考えます。 ■ プロスポーツ選手をはじめ、eスポーツ選手やタレント、芸人など様々な分野で活躍されている方からのメッセージを発信しました。自らの夢を持つことまたそれに向かって努力することの重要性を伝えることができたと考えます。 ■ 子ども達の笑顔の写真やイラストと共に、将来の夢を発信することができました。夢を語る場となり、想いを形にしていこうにすることができたと考えます。投稿していただいた写真を札として抽選を行い、JTマーヴェラス3つ、セレッソ大阪2つ、オリックスバファローズ2つ、大阪エヴェッサ2つの計9グッズを9名の方にプレゼントいたしました。
事業目的に達しなかった点		『近未来のぞき見トピックス』において、決まった動画をホームページ上で公開しているだけになり、直接のアクセスなどを見込めなかった。そして、広報手段の少なさ、広報内容の薄さ、広報回数など、効果的な手段が取れなかったため、アクセス数を達成することができなかった。 本来であれば、もっと多くの子供達に向けて運動発信をすることで目的の達成につながればならなかったが、計画通りに事業を届けることができなかった。



STAFF

委員長

池田 陽一

幹事

宮沢 孝児
益原 武史
柳 知幸
市川 真祥
中村 彰敏
杉山 広樹

副委員長

川畑 太介
吉田 慧
堀川 雅典
上田 哲也
中桐 和也
門口 崇彦
山科 直之

委員

大村 雅祥
中島 聖智
奥田 知之
杉立 慎太郎
高橋 佑太
山本 義継
河原 由次
浅岡 保裕
新井 一秀
小玉 恵美
高松 忠紀
中馬 和子
布川 孝志朗
秋田 幸介
村上 秀信

村田 陽一
英賀 雄介
大西 潤
濱村 充哉
丸山 晃司
八尾 良介
和田 敦雄
岩垣 太郎
川上 智之
小林 洋介
谷井 正佳
仲摩 陽介
秀島 勇介
福永 寿子
伊藤 博規
井本 哲平

岩野 未来
亀澤 範行
高山 怜子
玉山 泰章
西尾 翼
松井 勝裕
三角 佐代子
山本 務
淀 洋和
河端 和也
森下 友陽
佐々木 雅弥
尾形 麗
石崎 育子
福田 昌也
大橋 優喜

中原 圭介
長井 淳嗣
福田 優帆
岩崎 誠宜
山崎 悠太郎
池田 あすか
大城 龍一
伊藤 大樹
乾 健斗
福永 邦元
藤原 弘之
小川 素広
宇井 戸四輝
川上 創士
田中 将
松尾 彬宏

中上 壱
中森 孝征
松倉 健
中嶋 隆則
有得 昌吾
松井 秀樹
鄭 重成
野村 周平
河野 陽介
久保 えりか
横山 真央
田端 雅史
増井 脩平

室テーマ 共創により新たな価値を生み出す人財を育成しよう！

世界共創室 室長
辻 光哉



資本主義経済の限界が露呈し、一時的な利益志向から長期的な社会志向が共感される時代を迎えています。今こそ、大きな変化をともなう時代の潮流を読み、既存の価値の掛け合わせから新たなイノベーションを起こし、共創により新たな価値を生む人財が必要です。

そのために、私たち世界共創室では、「共創により新たな価値を生み出す人財を育成しよう！」をテーマに掲げ、未来社会をデザイン思考で思い描き、大きな変化を伴う時代の潮流を捉え、未知の領域に臆することなく挑戦する意欲を携え、多彩な個性をもつ人びとの価値観から新たな可能性を見出し、世界に共創をもたらす粋の精神を上げていく人財を育成すべく、運動を展開して参りました。

国際人材交流委員会では、1年間を通じて若者を対象とした世界に共創を拓けるネットワークの起点となる人財を育成する事業を展開して参りました。ワン・ワールド・フェスティバルでは、JICAをはじめとする多くの他団体と共に、世界が抱える課題を自分ごとと捉え、自らがその解決への一翼を担っていることを理解していただきました。また、2015年の世界会議以降5年に渡り開催され、本年有終の美を飾りましたJCI金沢会議では、多くのメンバーの皆様にご参加を賜り、微力ながら出向者の皆様をお支えさせていただくことができました。時世を踏まえ、リモート開催に踏み切った6月度月例会では、IDEO Tokyoの発起人である石川俊祐氏を講師にお迎えし、デザイン思考について分かり易くご講演を賜り、メンバーだけでなく、GYAO参加高校生の方々にも、これからの時代に必要とされる価値について理解を深めていただきました。そして、Global Young Academy Osakaでは、目標参加人数には至りませんでしたが、高校生の皆様には、短期間でデザイン思考を習得し、連日連夜議論を重ね、ビジネスという持続可能な課題解決方法について素晴らしいアイデアを発表していただきました。これらの運動により、世界に共創を拓げていく人財を育成できたと確信しております。

結びとなりますが、本年度の事業実施に際し、多大なるご協力を賜りましたすべての皆様に、心から厚く感謝申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。

国際人材交流委員会

国際人材交流委員会
理事 委員長
山本 晃大



国際人材交流委員会では、多彩な個性を響きあわせる中核で躍動する人財を育成すべく、1年間活動して参りました。27回目を迎えるワン・ワールド・フェスティバルは国際協力に取り組む93の団体と連携し、世界課題とその解決に向けた多くの学びの機会となりました。また、本年度が最後の開催となりましたJCI金沢会議ではJCIおよび日本青年会議所のSDGs推進に向けた様々な取り組みを知っていただくと共に、出向者の皆様をサポートさせていただくことができました。そして、初の試みとなったリモート開催による月例会では一時回線トラブルが生じましたが、ご視聴いただきました多くの方々にデザイン思考を取り入れる意義について共感を得ていただくことができました。さらに、本年度のGlobal Young Academy Osakaは完全リモートによる短期集中開催にて、参加高校生にデザイン思考を取り入れ、仲間と共に創り上げた斬新なビジネスプランを発表していただきました。全プログラムを修了した参加者からはテーマへの理解、当事者としての意識変化、切磋琢磨し合える仲間との共創の重要性について多くの反響をいただきました。今後も未来を切り拓く中核として世界を舞台に社会の仕組みをアップデートされてゆくことを期待しております。お支えいただきました皆様、1年間誠にありがとうございました。

事業計画 私たちは、デザイン思考が有する可能性を認識し、自らの行動が世界の課題を解決する一翼を担うことを理解し、未来を切り拓く当事者として挑戦する気概を携え、国境を越えた共感を生む行動力を有し、多彩な個性を響きあわせる中核で躍動する人財を育成します。

1, 国際人材交流事業 (ワン・ワールド・フェスティバル) の企画と実施	
事業内容	第27回ワン・ワールド・フェスティバルの運営協力ならびにブース出展による大阪青年会議所活動広報・入会案内、商店街の清掃活動を実施しました。
実施時期	2020年2月1日(土) 10:00~17:00/2020年2月2日(日) 10:00~17:00
場所	北区民センター/カンテレ扇町スクエア1階ステージ/扇町公園
参加人数目標・報告	【対内】目標:193名(2日間合計) 結果:165名(2日間合計) 【対外】目標:20,000名(2日間合計) 結果:26,000名(2日間合計)
実施方法の工夫	ブースにて過年度事業のパネルを設置し、来場者の方へ大阪青年会議所の活動内容を説明するとともに当年度の入会案内チラシを配布。
事業目的に達した点	大阪青年会議所ブースにて入会案内チラシ300枚を配布。展示パネルにて大阪青年会議所の活動内容を説明しました。また、出展他団体93団体全てのブースを訪問し、大阪青年会議所の活動について説明すると共に、各団体との情報交換を行いました。393名以上へ大阪青年会議所のPRを行うことができました。
事業目的に達しなかった点	無し



国際人材交流委員会

事業報告

2, JCI金沢会議への参加促進と支援

事業内容	2020年度JCI金沢会議へのLOMメンバーの参加促進と共に、出向先委員会への挨拶・お酒配りによる出向者支援を実施しました。
実施時期	2月21日(金) 14:00~23:00/2月22日(土) 9:00~24:00 2月23日(日) 9:00~12:00
場所	北國新聞赤羽ホール・1F交流ホール・2F赤羽ホール/金沢市文化ホール大会議室
参加人数目標・報告	【対内】目標:114名 結果:105名
実施方法の工夫	出向者から出向先委員会・ファンクションの情報ヒアリングを重ねたことで、LOMへの案内および出向先への挨拶回りを円滑に行うことができました。
事業目的に達した点	105名の大阪青年会議所メンバーに参加していただき、プログラムを通じてSDGsへの中長期的な取り組みの必要性を理解してもらいました。また、全ての出向者へお酒配りを実施しました。
事業目的に達しなかった点	参加目標114名に対し、105名の参加(92.1%)にとどまりました。

3, 国際人材交流事業(6月度月例会)の企画と実施

事業内容	ZoomとYouTubeを併用し、初のリモート月例会を開催しました。「デザイン思考」をテーマに講師講演を行い、GYAO事業との相乗効果を生み出しました。
実施時期	6月23日(火) 19:00~20:35(生配信) 6月23日(火) 月例会終了後~6月30日(火) 23:59(アーカイブ配信) 7月4日(土) 11:00~7月10日(金) 23:59(GYAO参加高校生向け配信)
場所	Zoom開催・YouTube配信
参加人数目標・報告	【対内】目標:430名 結果:431名 【対外】目標:30名 結果:23名
実施方法の工夫	IDEO出身でデザイン思考について多くの著書・講演経験をもつ石川俊祐氏にZoomを使用して東京から生中継でデザイン思考に関する講演を行っていた。大阪青年会議所メンバーだけでなく、GYAOメンバーにもデザイン思考についての学びを深めると共に、GYAOへの期待感を高めてもらいました。
事業目的に達した点	月例会というメンバーが一堂に会する場をオンライン上で提供し、デザイン思考から粋都大阪の実現について考える機会としました。既存の価値の再確認とそれらを掛け合わせることで新たな価値を生み出すイノベーションとなることを実感してもらい、潜在的な顧客ニーズと新たなビジネスモデル構築による未来の可能性を認識してもらいました。
事業目的に達しなかった点	参加目標人数に対し、対外参加人数が下回りました。

4, 国際人材交流事業(Global Young Academy Osaka)の募集・企画と実施

事業内容	本年度は「輝くミライをデザインしよう」をテーマに、高校生を対象に講師講演・グループワーク・プレゼンテーションを完全リモートで開催し、デザイン思考を取り入れた5つのビジネスプランを構築・発表しました。
実施時期	6月01日(月)~6月30日(火) 募集期間・説明会 7月04日(土)~7月26日(日) 講師講演WEB配信 7月27日(月) 19:00~22:00講師講演・参加者アイスブレイク・グループワーク 7月28日(火) 19:00~22:00講師講演・グループワーク 7月29日(水) 19:00~22:00講師講演・グループワーク 7月30日(木) 19:00~22:00講師講演・グループワーク 7月31日(金) 19:00~22:00講師講演・グループワーク 8月01日(土) 19:00~22:00プレゼンテーション準備 8月02日(日) 14:00~17:00プレゼンテーション・有識者講評・閉校式
場所	Zoom開催(説明会・グループワーク)/YouTube配信(講師講演・プレゼン)
参加人数目標・報告	【対内】目標:89名 結果:61名 【対外】目標:75名 結果:37名(Zoom)・368名(YouTube)
実施方法の工夫	講演を行っていただいた講師の方全員にプレゼンテーションへの講評をいただいたことで、参加者に自信をもってもらうことができました。
事業目的に達した点	全てのグループがデザイン思考により画期的なビジネスモデルを構築し、各要素における参加者の意識が高い水準で向上しました。
事業目的に達しなかった点	申込み後にプログラム本番への参加を辞退される方が出てしまいました。



STAFF

委員長

山本 晃大

幹事

山下 領太
宇都宮 博道
石川 弘毅
藤原 浩
今泉 皓嗣
藤田 雅巧

副委員長

更家 一徳
津波 文雄
紀平 満
野田 賢太郎
前田 菜々実
中野 星知
泉 暁

委員

浅井 太一
黒田 健夫
原 英彰
範舎美 ロニール
青山 修
西井 重超
中村 圭佑
山本 貴也
林 裕満
近藤 陽介
神藤 昌平
安井 将祐
坂本 裕喜
奥本 和久
一花 裕一
梅村 健介

神谷 幸代実
河合 聡
米谷 素明
佐藤 俊
杉浦 健文
竹澤 哲平
玉野 倫弘
辻本 卓也
當眞 嗣成
御手洗 万里衣
光本 健吾
木村 彰宏
谷口 勇人
田之上 真也
八崎 将志
原田 誉之

札幌 雅弘
松井 豊
東 聡史
有馬 大起
植松 真央
岸田 城政
末岡 俊一郎
武田 大輔
西涌 修平
三島 徹
浦田 恭資
安藤 豪哉
松本 忠義
清水 政憲
田原 陽平
北爪 孝亮

本原 美沙
井上 晃利
磯久 五郎
上野 歩
金光 一輝
松田 裕介
浅川 裕大
井野 良子
瀧 大成
高田 雄平
角石 紗恵子
坂井 建文
北野 裕孝
宮島 徹
三井 聡一郎
石川 恭輔

中瀬 昌宏
三谷 理恵
江川 聡
高木 公平
燕 新
大野 公三
菊池 龍二
木下 朱乃
小野 貴弘
安部 由佳
吉川 可菜子
安部 知也

渉外委員会

室テーマ 粋の精神で未来を変える連携を創ろう！



渉外室
常任理事 室長
梶本 秀則



渉外室
理事 副室長
内本 明伸



渉外室
理事 委員長
岡本 貴行

本年度は、渉外室として「粋都大阪の実現」に向けて運動を展開して参りました。人びとから共感される団体として次代へ舵をとるべく、世界中に広がるネットワークを活かし、粋の精神を青年による民間外交で拡げ、同志による共創の中核的役割を担う組織が必要と考えました。そのために渉外室では「粋の精神で未来を変える連携を創ろう！」をテーマに、受け継がれてきたネットワークを認識し、世界中で同じ志をもつ組織の使命を理解し、奉仕の精神を自らの行動へと昇華する気概を有し、未知なる機会に挑戦する能動的な行動力を備え、理想の未来を築き上げる連携の中核を担うメンバーを増やすべく運動を展開して参りました。

当年度は例年とは異なり国際・国内が合わさり渉外委員会の1委員会としてのスタートとなり多くの事業を展開する予定をしておりましたが、新型コロナウイルスの世界的な蔓延の影響により、京都会議や金沢会議につきましては通常通りでの開催とはなったもののASPACアンコール大会、サマーコンファレンス2020、近畿地区大会和歌山大会の中止、大阪ブロック大会寝屋川大会は現地とWebとのハイブリッドでの開催、全国大会北海道札幌大会についてはWebでの開催、JCI世界会議横浜大会はハイブリッドでの開催となりました。サマーコンファレンスの中止に伴い、代替えとして世界会議内にてJAPANフォーラムもハイブリッド形式にて開催されました。

この時代の大きな転換期を迎えた中で当たり前だった繋がり的重要性を再認識していくと共にWebを活用したシステムを通じて気軽にどこでも各地青年会議所の事業に触れる機会を提供することができました。

また、大きなトピックの1つとして小嶋直前理事長が2021年度JCI会頭として立候補し当選されました。大阪から初のJCI会頭を輩出することができ、日本だけでなく世界から多くの皆様にご支援を賜ることができました。2021年度もJCI会頭輩出LOMとして国際の機会から多くの学びを得られる1年となることを嬉しく思います。

結びに本年度世界的なパンデミックの影響下の中でも、できる限りの活動とはなりましたが多大なるご協力を賜りました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。1年間誠にありがとうございました。

私たち渉外委員会は、「粋都大阪の実現」を目指して、未来を切り拓く連携の中核となるメンバーを増やすべく、運動を展開して参りました。

京都会議では、各地青年会議所の仲間とともに1年の活動方針の礎を抱いてもらうことで地域を越えた連携で同じ目標に取り組む重要性を理解してもらいました。

新型コロナウイルス感染拡大防止を鑑み、初のWEBでの開催となった大阪ブロック大会及び全国大会での登録者数は過去最大数を打ち出しました。変化した社会情勢の中で、新たな開催形式を見出し発信することになった諸会議を通じて、地域を越えて多様な仲間と触れ合うことで、これからの未来を切り抜いてゆける、人と人の繋がりを結び付けていく主人公となったメンバーを増やすことができたことを確信しております。

また、小嶋直前理事長が2021年度JCI会頭へ立候補し当選され、大阪から初のJCI会頭が輩出されたことで、さらに多くの国際の機会が提供され大阪青年会議所全体で新たな学びを得られると確信しています。

結びとなりますが、当委員会の事業構築及び実施にあたり、多大なるご支援、ご協力を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。



渉外委員会

事業計画 私たちは、受け継がれてきた資産を認識し、世界中に広がる組織に課せられた使命を理解し、多様な価値観が融合した社会を思い描く想像力を携え、臆することなく挑戦する行動力を備え、未来を切り拓く連携の中核となるメンバーを増やし、粋都大阪を実現します。

事業報告	1, 日本JC事業（京都会議）への参加促進及び支援
事業内容	メンバーが他LOMのメンバーとともにその年の活動方針の礎を担ってもらう事業
実施時期	2020年1月16日（木）～1月19日（日）
場所	国立京都国際会館・グランドプリンスホテル京都・房の家
参加人数目標・報告	【対内】目標200名 結果223名
実施方法の工夫	LOMナイトを開催し、全てのメンバーが協力しながら一人一人が主人公になるようとする意欲をもってもらえる出向者支援をおこなうことで、出向者が多くの仲間に支えられていることを実感していただけるよう工夫いたしました。
事業目的に達した点	目標を上回る223名の大阪青年会議所メンバーに参加していただき、プログラムを通じて世界的なネットワークをもつ組織に課せられた使命を理解していただきました。
事業目的に達しなかった点	無し

2, ASPACアンコール大会への参加促進及び支援	
事業内容	メンバーがLOMを超えたJCのメンバーと相互の文化を理解する意欲を持ってもらう事業
実施時期	2020年7月18日(土)～7月19日(日)
場所	オンライン配信による開催
参加人数目標・報告	【対内】目標120名 結果176名
実施方法の工夫	オンライン開催された総会及びAWARDSへメンバーの参画動員や、WP選挙の応援や出向者の支援に大阪青年会議所メンバーを巻き込めるよう定期的に広報配信するなど工夫いたしました。
事業目的に達した点	目標を上回る176名の大阪青年会議所メンバーにオンラインにて参加していただき、アジア・太平洋地域の海外のJCメンバーのJCIに対しての取り組み方や、多様な価値観に触れる事で、多様な価値観が融合した社会を思い描く想像力を携えていただきました。
事業目的に達しなかった点	新型コロナウイルス感染拡大防止のため現地開催が中止となりLOMナイトが開催されませんでした。

3, 大阪ブロック大会寝屋川大会への参加促進及び支援	
事業内容	メンバーがLOMを超えたメンバーと日本JCの運動を発信することでそれぞれのLOMの課題を解決する気概を有してもらう事業
実施時期	2020年9月22日(火)
場所	オンライン配信及び寝屋川市立市民会館におけるハイブリッド開催
参加人数目標・報告	【対内】目標150名 結果311名
実施方法の工夫	広報手法で定期的にフォーラム、フェスタのスケジュールおよび内容を、ホームページやメルマガ、LINE@を利用し、配信することで各参加者に事前情報を知ってもらい、目的を共有できるよう工夫いたしました。
事業目的に達した点	目標を上回る311名の大阪青年会議所メンバーにオンラインにて参加していただき、大阪府全体をより良く変えるべく活動していることを感じていただくことで、LOMや大阪市の課題解決に向けて臆することなく挑戦する行動力を備えていただきました。
事業目的に達しなかった点	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、大阪ブロック大会寝屋川大会が式典のみ人数限定での現地開催が決定し、代わりにオンラインでの総会視聴及びオンラインでのメインフォーラム開催となったため、例年のように現地にて大阪府下29LOMのメンバーと触れ合う機会を提供することができませんでした。

事業報告	4, 日本JC事業（全国大会北海道札幌大会）への参加促進及び支援
事業内容	地域そして国境を超えたメンバーとそれぞれの取り組みを共有し価値観を高めることで社会を牽引するメンバーを増やす事業
実施時期	2020年9月26日（土）
場所	オンラインによる開催
参加人数目標・報告	【対内】目標300名 結果499名
実施方法の工夫	広報手法で定期的に各ファンクション内容を、ホームページやメルマガ、LINE@を利用し、配信することで各参加者に事前情報を知ってもらい目的を共有し、全国大会札幌大会にて発信された政策をもとに活動した成果を大阪青年会議所メンバーに学んでいただけるよう工夫いたしました。
事業目的に達した点	目標を上回る499名の大阪青年会議所メンバーにオンラインにて参加していただき、各日本青年会議所のJCメンバーの取り組みを検証する事で、地域や国境の枠を超えて未来社会を構築する連携の中核として課題解決に取り組む行動力を身に付けていただきました。
事業目的に達しなかった点	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より現地開催が中止となり、LOMナイトが開催されませんでした。

5, 世界会議横浜大会への参加促進及び支援	
事業内容	地域そして国境を超えたメンバーとそれぞれの取り組みを共有し価値観を高めることで社会を牽引するメンバーを増やす事業
実施時期	WEEK1:2020年10月24日(土)～11月2日(月) WEEK2:2020年11月3日(火)～11月7日(土)
場所	オンライン配信及びパシフィコ横浜ノースにおけるハイブリッド開催
参加人数目標・報告	【対内】目標300名 結果395名
実施方法の工夫	世界会議横浜大会での総会、アワード、出向者が設営するファンクションへの参加促進をし、文化や環境の違いから生み出された新たな価値観に触れていただけるよう工夫いたしました。
事業目的に達した点	目標を上回る395名の大阪青年会議所メンバーにオンラインと現地で参加していただき、世界中の同志たちが有する知識や経験に触れていただくことで未来を切り拓く連携の中核となっていました。
事業目的に達しなかった点	世界的な新型コロナウイルス感染拡大防止によりハイブリッド開催になったため、例年のような現地での海外の方と触れ合う機会を提供することができませんでした。



渉外委員会

STAFF

委員長

岡本 貴行

幹事

榎木 達也
小澤 卓生
吉村 太貴
菊池 友喜
村瀬 太一
尾藤 雅彦

副委員長

乾 菜月
嵯峨根 照道
森垣 慶一
北野 真巳
坂元 靖昌
金井 宏輔

委員

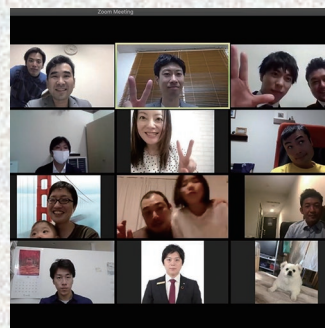
大浦 徹
新田 雄士
保井 美紀
山田 隆則
浅田 雄太
増永 充浩
越智 敬一
金山 紘彰
佐伯 太郎
永井 亜樹
上西 孝法
大木 原 正祥
大澤 一慶
岡田 裕作

小林 裕典
三宮 規尊
住江 悠
高山 洋平
田中 洸一朗
田中 威之
山本 遊
上田 友久
北野 憲二
茂見 尚希
森 雄介
伊部 周太
植田 学
上田 浩嗣

大木 信吾
岡本 崇義
川崎 伸也
菅野 佐紀
田中 崇雄
寺田 一弥
廣田 歌菜穂
藤井 堅司
堀川 泰弘
谷内 圭一郎
山下 和政
山田 麻香
録家 直之
若松 幸弘

帖佐 加代子
石田 昌大
北尾 和真
柴 和也
川端 信太朗
門 高志
岩鼻 和記
大橋 恭兵
岩本 啄也
伊豆 浩幸
河合 俊行
藤本 悟史
松村 肇
赤崎 雄作

國分 大輔
稲井 祥平
廣保 雅文
森本 憲太
才門 功作
清原 直己
川瀬 裕介
山本 隆太郎
鈴木 康一郎
金谷 研一
長原 耕太
能村 祐己
中峯 将文
西村 直紀



室テーマ 共感される「大阪」Cブランド」を確立しよう！

総務室
常任理事 室長
森高 悠太



現在、多種多様な組織・団体が存在し、自らが望めば自己成長の機会はどこにでも転がっている時代になりました。このような、いわば学びの飽食時代において、大阪青年会議所がより効果的に運動を発信していくためには、70年に渡って培ってきた存在意義を、価値あるものとして、広く示していく必要があります。

大阪青年会議所は、社会をより良く変革し得る力をもつ青年という世代に、成長の機会を提供することで、大阪のまちの発展に寄与してきました。この大阪青年会議所が担ってきた役割について、今一度、見直し、その存在価値をより向上していくには、私たち自身が、さらなる成長を遂げることが必要であると考えました。

総務財政委員会では、大阪青年会議所に所属するメンバーに、大阪青年会議所の存在意義について理解を深め、自分の周りに対してより良い影響を与える力をもってもらうための事業を行いました。大阪青年会議所に所属することの価値を改めて実感してもらうことで、メンバー一人ひとりに、社会を変革する力をもってもらうことができました。

青年という世代は、その行動力や将来性から、社会を変革し得る力を持ち、その力を発揮する責務を負っています。その青年世代としての影響力をより大きく広げていくことで、社会全体を発展させることができます。

報道戦略委員会では、大阪のまちの青年世代に対して、大阪青年会議所の運動を発信していくとともに、青年世代の発信力の大きさを自覚してもらう事業を行いました。大阪青年会議所を起点として共感の輪を広げていくことで、より大きな社会変革の最初の一滴として波紋を起こすことができました。

社会状況が一変したこの年度においては、大阪青年会議所としての事業構築、運動発信についても、変化を余儀なくされ、苦しい年であったことは間違いありません。しかしながら、新しいものを生み出すために、仲間と共に思考と行動という挑戦を繰り返し、工夫と研鑽を重ねることで、組織としての大きな成長があったと確信しております。

総務財政委員会

総務財政委員会
理事 委員長
石井 孝昌



総務財政委員会では、組織の中核として粋都大阪の実現を担うメンバーを創出すべく活動をして参りました。まずは予定者の段階で開催したスタッフセミナー、アジェンダシステム上に掲載した基本資料、池田会議の企画及び運営に始まり、JCIセミナーの企画と実施、毎月行われる理事会、常任理事会、財務規則審議会の運営と設営、月例会総会の設営や運営などを行い「成長と発展」の機会を提供して参りました。

池田会議ではテーマを「共生」とし、白河桃子先生による女性活躍についてご講演臨時総会では2020年度の室方針、委員会事業計画を全メンバーに説明。大懇親会では「ボッチャ」を体験し、共生社会の理解が深まりました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、JCIセミナーの実施を初のWEBによるリモート開催を行い、新たにトレーナーを輩出することが出来ました。月例会の実施では、辻野晃一郎氏の動画配信、金井良太氏を迎え対面とリモートのハイブリット開催、理事会や諸会議のリモート開催など新しい試みを行いました。このような状況下でも大阪青年会議所の運動発信が変わらず効果的に行われ、粋都大阪の実現を担うメンバーを創出できたと確信しております。

1年間ありがとうございました。

総務室



事業計画 私たちは、創始から蓄積された財産の有用性を認識し、自ら果たすべき役割を理解し、組織的な協働で未来を創る気概を醸成し、自己研鑽が生み出す成長の礎となる行動力を携え、心を揺り動かす熱意で周囲を感化し続けるメンバーを創出し、粋都大阪を実現します。

事業報告

1, スタッフセミナーの企画と実施

事業内容	副委員長予定者、幹事予定者に対するセミナーを実施
実施時期	2019年10月26日(土) 2020年1月11日(土)
場所	不死王閣
参加人数目標・報告	目標:副委員長予定者56名、幹事予定者48名 結果:副委員長予定者55名、幹事予定者46名
実施方法の工夫	スタッフマニュアルを工夫し、セミナー後も振り返るように致しました。
事業目的に達した点	アンケートにて各セミナーの理解度が目標数値に達し、次年度スタッフの役割を理解していただくことが出来ました。
事業目的に達しなかった点	参加目標人数に達しませんでした。

2, 池田会議の企画と実施

事業内容	池田会議を通じて1年間の方向性を会員と共有
実施時期	2020年1月11日(土)、12日(日)
場所	不死王閣
参加人数目標・報告	目標:400名 結果:421名
実施方法の工夫	月例会に参加できなかったメンバーにも動画配信を通じてフォローアップを行います。IT技術を活用し、大阪青年会議所に所属するすべてのメンバーに機会の提供を行いました。
事業目的に達した点	参加目標人数を達成いたしました。
事業目的に達しなかった点	池田会議参加者数のうち、アンケートの全項目において、目標数値に達しませんでした。

3, JCIセミナーの企画と実施

事業内容	各種JCIセミナー及び、日本JCI公認プログラムを実施
実施時期	2020年5月～2020年6月
場所	オンラインにて実施(Zoom)
参加人数目標・報告	目標:360名 結果:345名
実施方法の工夫	事前広報にてJCIトレーナーのインタビュー動画を発信し参加促進致しました。
事業目的に達した点	アンケート6項目中5項目達成致しました。
事業目的に達しなかった点	参加目標人数、アンケート1項目において目標に達しませんでした。

4, 月例会の企画と実施

事業内容	組織的な協働で未来を創る気概を醸成するメンバーを創出する事業
実施時期	2020年1月、2020年3月、2020年8月、2020年10月
場所	不死王閣/帝国ホテル大阪/大阪青年会議所事務局
参加人数目標・報告	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、初の試みとなる実地と配信によるハイブリット開催を行いました。
実施方法の工夫	目標:1876名 結果:1276名
事業目的に達した点	アンケートにて目標数値を達成致しました。
事業目的に達しなかった点	参加者が目標人数に達しませんでした。

総務財政委員会



STAFF

委員長

石井 孝昌

幹事

森光 大輔
三木 貴大
内本 修平
岩崎 和敬
香山 夏志

副委員長

一瀬 知史
宅島 一嘉
丸山 正人
依藤 哲也
今井 宏美
山本 顕悟
北田 昇平

委員

村上 亮介
中村 周造
前川 晃一
眞下 幹弘
安田 圭佑
植本 彰
大串 安弘
表 秀和
片畑 博貴
川崎 雄也
田村 誠
中西 隆人
榎尾 真法

南林 弘基
山本 守
米澤 直斗
久保 雅史
小林 泉
池田 大介
稲森 康
小椋 雄司
齊藤 寛樹
四宮 圭
土岐 勝
徳田 聖也
安藤 夕謹

池田 篤司
岡田 芽具美
影山 裕一
加藤 賢一
久保 佑允
小寺 直志
佐々木 亮輔
白石 陽一
平 如将
高野 敬太郎
竹内 大翼
西村 雄大
斎藤 秀樹

佐藤 陽太
百鳥 浩基
大西 良雅
池田 尚弘
浅野 啓
山口 陽
中本 誠也
井川 克俊
佐藤 豊浩
金 鍾明
北野 絢麗
金谷 宗明
七瀬 貴大

谷 豪知良
角谷 雄一郎
鈴木 威信
川崎 勝洋
田邊 武志
内田 孝明
津露 啓司
中山 暁
佐山 寧秀
米倉 健太
田中 良龍
佛坂 智志
頃安 洋史



報道戦略委員会
理事 委員長

羽間 龍太



私たち報道戦略委員会では、「粋都大阪の実現」に向け、より良い未来を創る想いを共鳴させる青年を創出する事を目的に1年間活動して参りました。

まず年始に開催させていただきました新年名刺交換会では、現役メンバー、OB諸兄姉と共に多くのご参加をいただくことができました。1年間の運動方針、役員のご紹介をおこない、2020年代運動方針の発表や、今年度70周年を迎えた大阪青年会議所の功績を称えました。

また、コロナ禍で多くの事業が実地開催ができない中、各種SNSでの広報発信に力を入れ、「いま何ができるのか」を考え、月例会や多くの事業をオンライン開催へと切り替え様々な配信、記録をさせていただきました。また、会員大会をYouTubeを利用したオンライン開催することで、多くの方へ1年の終わりを感じていただけたと確信しています。

ご協力いただきました皆様、1年間有難う御座いました。

報道戦略委員会

事業計画

私たちは、自らの成長が都市を発展させる可能性に期待を抱き、未来を創造する主体者としての影響力を知り、連携が生み出す都市の未来を思い描き、社会を導く起点となる行動力を携え、より良い未来を創る想いを共鳴させる青年を創出し、粋都大阪を実現します。

事業報告

1、 新年名刺交換会の企画と実施	
事業内容	新年名刺交換会を通じて、自らの成長が都市の発展を加速させる可能性に期待感を抱く青年を創出します。
実施時期	2020年1月7日(火)
場所	リーガロイヤルホテル大阪
参加人数目標・報告	【目標】 総合計400名 OB 合計 100名 現役 合計 300名 【結果】 総合計435名 OB 合計 145名 現役 合計 290名
実施方法の工夫	2020年度のスローガンの発表、そして2020年代運動方針の発表、さらに委員会紹介時に初となる副委員長登壇を行いました。そうすることで現役メンバーの出席率に大きく貢献したと確信しております。
事業目的に達した点	未来を生き抜く青年の成長により生まれる新しい力がより良い都市づくりに大きく貢献できることに気づいてもらいました。
事業目的に達しなかった点	現役メンバーの参加目標人数に達しませんでした。

2、 会員大会の企と実施	
事業内容	会員大会の企画と実施を通じて、社会を導く起点となる行動力を携えた青年を創出します。
実施時期	2020年12月23日(水)
場所	YouTube配信
参加人数目標・報告	【目標】 総合計550名 OB 合計 63名 現役 合計487名 【結果】 総合計646名 OB 合計348名 現役 合計298名
実施方法の工夫	実施開催と遜色のないよう、全てのプログラムにひと手間ひと工夫を加え、コロナ禍でも多くの方が視聴していただけるようテーマの選定、司会進行、アワード発表を通じて、オンラインでも一体感を持つことができるよう工夫しました。
事業目的に達した点	アンケート結果と考察より事業目的を達成したと考えます。 ■今後自身が率先して行動を起こし社会を導く起点となっていこうという想いは高まった割合 【とても高まった、高まったの項目の合計85.6%】
事業目的に達しなかった点	・現役メンバーの参加人数が目標人数に到達しませんでした。 ・卒業生全員の写真を収集することができず動画内に掲載することができませんでした。

報道戦略委員会

STAFF

委員長

羽間 龍太

幹事

安部 久史
長谷川 竜
鈴木 一功
嶋崙 匠
野口 人志

副委員長

羽原 功峻
梶田 晋一郎
行方 正樹
岡田 慎太郎
松根 龍一
柳 千景
堀江 祐太郎

委員

伊藤 良夏
中村 宜嗣
道野 弘済
牛渡 裕也
竹下 達也
上原 大助
田中 良明
濱永 健太
横山 大典
叶 郁美
小川 将史
小國 博貴
坂 幸樹

巽 宏彰
服部 悠介
藤井 裕介
藤田 温香
森山 光樹
大道 誠
葛川 恵美
勝亦 謙介
木戸地 陽平
福井 絵莉子
福岡 寛樹
白石 達也
高野 雅史

西澤 孝朗
今井 勇治
上河 全巧
氏井 庸介
鶴沼 佑彌
河中 一朗
谷口 優亮
中島 雅子
西森 平
藤原 翼
藤原 寛
松井 隆明
松本 昌勝

三島 大樹
青山 欣誉
生田 晴之
葛川 聖大
清水 友大
中谷 亜弥
濱 孝生
松山 奈央
溝渕 太一
森田 慧
本田 剛士
石橋 弘子
増木 大樹

阪本 剛司
濱元 優多佳
松本 洋平
中道 正彦
中野 祐介
千代 整了
中尾 航志
宮尾 徹
荒木 星
井上 亜依
下門 雅士
早田 有為子
弓場 麻由



年間月例会

1月度月例会

場所：不死王閣
(池田会議)
ゲスト：なし



3月度月例会

場所：Youtube
ゲスト
アレックス株式会社
辻野晃一



7月度月例会

場所：Zoom
Youtube
ゲスト
株式会社 WORK SMILE LABO
石井聖博



10月度月例会

場所：帝国ホテル大阪
ゲスト
株式会社アラヤ
金井良太



12月度月例会

(会員大会)

場所：Youtube
ゲスト：なし



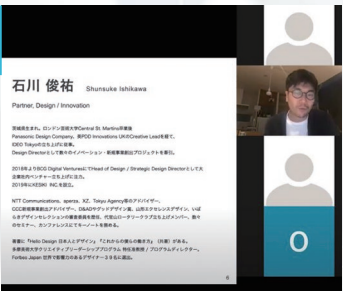
2月度月例会

場所：中央公会堂
ゲスト：探究学舎
宝槻泰伸



6月度月例会

場所：Zoom
Youtube
ゲスト
AnyProjects inc
石川俊祐



8月度月例会

(本コーカス)

場所：帝国ホテル大阪
ゲスト：なし



11月度月例会

場所
帝国ホテル大阪
Youtube
ゲスト：
昭和女子大学理事長
坂東眞理子



2020年褒章

最優秀会員賞

渉外室
渉外委員会
副委員長

森垣慶一



最優秀新人賞

会員開発委員会(共生)
運営幹事

中谷庄太



最優秀事業賞

会員開発委員会

粹の祈り
プロジェクト



MVJ
(Most Valuable JAYCEE)

会員開発委員会(共感)
委員長

奥野誠司



最優秀出向者賞

会員開発委員会(共生)
委員

中原明日香



最優秀委員会賞

共感都市
創造委員会



月例会多年皆出席賞

副理事長

高橋秀智



優秀会員賞

山川正時、狩野雅彦、笹田真義、川島利之、門口崇彦、北田昇平、松根龍一

功労賞

高橋秀智、奥野誠司、梶和也、内本明伸

優秀出向者賞

福島輝敬、木村光信、山科直之、宮島徹、帖佐加代子、中谷亜弥

優秀新人賞

徐大一、金森匡邦、杉山広樹、藤原浩、小澤卓生、香山夏志、野口人志

優秀委員会賞

会員開発委員会(共感) 報道戦略委員会

優秀事業賞

共感都市創造委員会(ECHO) Global Young Academy Osaka

広告制作物

メディア
掲載情報

ポリシーブック



投票にいったんでプロジェクト



ECHO



GYAO



全国一斉花火プロジェクト



理事長インタビュー
日刊ケイザイ（1月2日）



投票にいったんでプロジェクト
読売新聞（10月24日）



献血にいったんでプロジェクト大阪
大阪日日新聞（6月16日）

Smile Ring PROJECT



ECHO
大阪日日新聞（9月24日）

献血にいったんでプロジェクト



献血にいったんでプロジェクト大阪
朝日新聞（6月13日）



総務室 報道戦略委員会
委員長

羽間 龍太

企画・編集 総務室 報道戦略委員会
発行 一般社団法人 大阪青年会議所
〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-30 オーク4番街401号室
TEL 06-6575-5161 FAX 06-6575-5163
<https://www.osaka-jc.or.jp/>

発行日 2021年5月
制作 株式会社 **LAUGHTER**